

## 空気駆動攪拌機

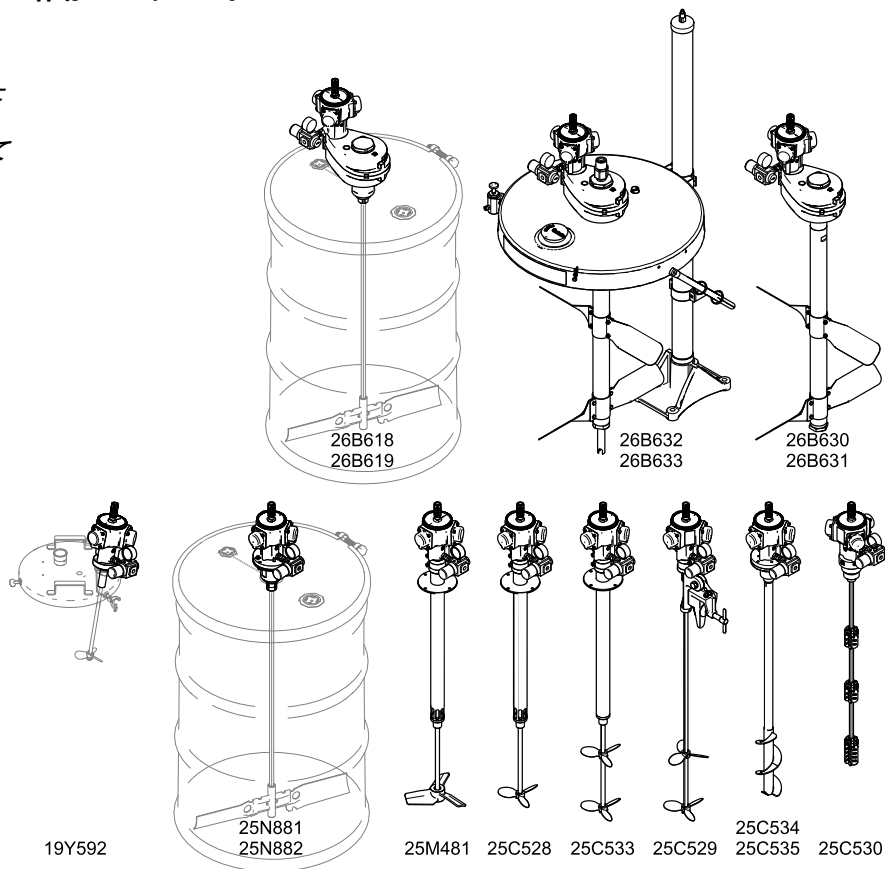
3A7010N  
JA

懸濁液の保持、ならびに工業用塗料とコーティング剤の混合を行うラジアルピストン式の空気圧モーター駆動攪拌機。一般目的では使用しないでください。



**重要な安全に関する指示**  
本装置をご使用になる前に、説明書にある全ての警告および指示を読んで下さい。指示説明書は保存して下さい。

70 psi ( 0.5 MPa、5bar ) 最大使用圧  
力  
モデル部品番号と承認の情報については、3 ページを参照してください。




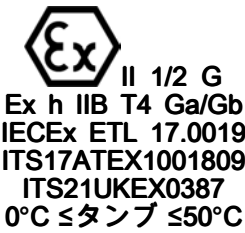



# Contents

モデル.....	3	部品.....	27
Warnings .....	5	モデル25C528.....	27
取り付け.....	8	モデル 25C533.....	29
エアレギュレーターとマフラー.....	9	モデル 25M481.....	31
アジテーター.....	11	モデル25C529.....	33
接地.....	17	モデル 25C534、25C535.....	35
エアラインアクセサリー.....	18	モデル 25C530.....	37
エアの要件.....	19	モデル 25N881、25N882.....	38
操作.....	20	モデル 19Y592.....	39
アジテーター操作.....	20	モデル 26B630、26B631、238250.....	40
バックギアの操作.....	20	モデル 26B618、26B619.....	42
適切な攪拌機速度の検索.....	21	モデル 26B632、26B633.....	44
圧力開放手順.....	21	アクセサリー.....	46
保守.....	22	センサーキット 25C373.....	46
エアモーターへの注油.....	22	Data Track キット 25P394.....	46
エアモーターマフラー.....	22	寸法.....	47
アジテーターの刃.....	22	取り付け穴の配置.....	50
シャフトの洗浄.....	23	エア消費量.....	51
サイフォンキットを使用したアジテーターの洗浄.....	23	カリフォルニア州プロポジション 65.....	52
ギア減速機の整備.....	23	技術仕様.....	53
整備します。.....	25	モデル 19Y592.....	55
エアモーターの取り外し.....	25	モデル 25C765.....	55
アウトレットハウジングの調整 —		モデル 26B618、26B619、26B630、	
25C534、25C535 専用.....	26	26B631、26B632、26B633、	
シャフトと攪拌機ブレードの点検 — モデル 25C530 専用.....	26	25T862.....	55

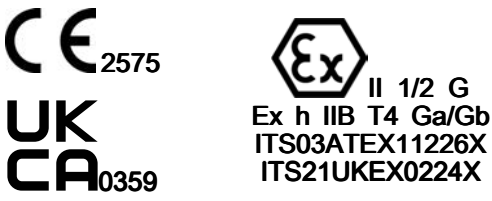


## 関連の取扱説明書

英語版の取扱説明書	タイトル
306287	エレベーターとポンプサポート
308466	ステンレススチール、保護膜ドラムカバー
3A5050	モーター修理説明書
306670	エア駆動、5ガロン ( 19リットル ) サイズのアジテーター

## モデル

部品番号	説明	推奨アジテーター回転数	承認
25C528	ステンレススチールダイレクトドライブ、30/55ガロン、1台のSS 5.5インチプロペラ	時計回り	 
25C533	炭素鋼ダイレクトドライブ、30/55ガロン、アルミ5.5インチプロペラ2枚	時計回り	
25M481	ステンレススチールダイレクトドライブ、30/55ガロン、SS 8インチインペラ1個	時計回り	
25C534	ステンレススチールダイレクトドライブ、らせん、栓マウント	時計回り	
25C535	炭素鋼ダイレクトドライブ、らせん、栓マウント	時計回り	
25C530	ステンレススチールダイレクトドライブ、55ガロン、栓マウント拡張ブレード	反時計回り方向	
25N881	ドラム内、1.5インチ栓マウント	時計回り	
25N882	ドラム内、2インチ栓マウント	時計回り	
25C529	炭素鋼直接駆動、55ガロン、サイドマウント、アルミニウム5.5インチプロペラ2枚	時計回り	
25C765	<p>キット、エアレギュレーター付きのモーター（既存のアジテーター部品番号206758、207953、222698、206760、203711、204995、206219のドライブモーターを交換するため）</p> <p><b>Note</b></p> <p>腐食性の環境では使用しないでください。シャフトの荷重制限については、<a href="#">モデル 25C765, page 55</a>を参照してください。</p>		
19Y592	キット、モーターおよびパーツ（既存の5 - 10ガロンのペール缶アジテーター部品番号226086、224572、224571、243340を後付けするため）	時計回り	









モデル





部品番号	説明	推奨アジテーター回転数	承認
26B618	6：1ギア減速、ドラム内、頑丈な、2インチバング取り付け	時計回り	
26B619	6：1ギア減速、ドラム内、頑丈な、1.5インチバング取り付け	時計回り	
26B630	6：1ギア減速、頑丈な	時計回り	
26B631	6：1ギア減速、頑丈な、サイフォンキットを使用	時計回り	
26B632	6：2ギア減速、頑丈な、エレベーターおよびドラム缶カバーを使用	時計回り	
26B633	6：1ギア減速、頑丈な、エレベーター、ドラム缶のカバーおよびサイフォンキットを使用	時計回り	
25T862	キット、後付け、バックギア式アジテーターに後付けするモーターおよびパーツ	時計回り	-----

# Warnings

The following warnings are for the setup, use, grounding, maintenance, and repair of this equipment. The exclamation point symbol alerts you to a general warning and the hazard symbols refer to procedure-specific risks. When these symbols appear in the body of this manual, refer back to these Warnings. Product-specific hazard symbols and warnings not covered in this section may appear throughout the body of this manual where applicable.

 <b>警告</b>	
   	<p><b>火災および爆発の危険性</b></p> <p>作業エリアの、溶剤や気化した塗料などの可燃性の気体は、着火または爆発する可能性があります。機器に塗料や溶剤が流れると、静電スパークの原因となる可能性があります。火災と爆発を防止するために：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 機器は、十分換気された場所でのみ使用してください。</li> <li>• パイロット灯やタバコの火、可搬性電灯およびプラスチック製たれよけ布 (静電アークが発生する恐れのあるもの) などの全ての着火源は取り除いてください。</li> <li>• 作業場にある全ての装置を接地してください。接地の指示を参照ください。</li> <li>• 洗浄用溶剤を高圧でスプレーしたり洗浄したりしないでください。</li> <li>• 溶剤、ポロ布、ガソリンなどの異物は、作業場に置かないでください。</li> <li>• 可燃性の気体が充満している場所で、電源コードの抜き差しや電気や電灯のスイッチのオン/オフはしないでください。</li> <li>• 接地されたホースのみを使用してください。</li> <li>• 容器中に向けて引き金を引く場合、ガンを接地したペール缶の縁にしっかりと当ててください。静電対策されているか、導電性である以外のペールライナーは使用しないでください。</li> <li>• 静電気火花が生じた場合、または感電したと感じた場合、操作を直ちに停止してください。問題を特定して、それを解決するまでは、装置を使用しないでください。</li> <li>• 作業場には消火器を置いてください。</li> </ul>
 	<p><b>可動部品の危険性</b></p> <p>可動部品は指や体の一部を挟んだり、切ったり、切断したりする恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 可動部品に近づかないでください。</li> <li>• 保護ガードまたはカバーを外したまま装置を運転しないでください。</li> <li>• 操作中はゆるんだ衣服や装飾品を着用しないでください。また、長髪である場合も操作しないでください。</li> <li>• 装置は、突然 (前触れもなく) 始動することがあります。装置の点検、移動、または整備を行う前に、<b>圧力開放手順</b>に従ってすべての電源接続を外してください。</li> </ul>

 <h1 style="margin: 0;">警告</h1>	
  	<p><b>加圧された装置の危険性</b></p> <p>機器、漏れまたは破裂した構成部品から出た流体は目または皮膚に飛び散り、重傷を負う原因になる可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スプレー/吐出を中止する場合、または機器の洗浄、点検、整備を行う前には、<b>圧力開放手順</b>に従ってください。</li> <li>機器を操作する前に、液体の流れるすべての接続箇所を締めてください。</li> <li>ホース、チューブ、およびカップリングを毎日点検してください。摩耗または損傷した部品は直ちに交換してください。</li> </ul>
 	<p><b>装置誤用の危険</b></p> <p>装置を誤って使用すると、死亡事故または重大な人身事故の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>疲労状態、薬物を服用した状態、または飲酒状態で装置を操作しないでください。</li> <li>システム内で耐圧または耐熱定格が最も低い部品の、最高使用圧力または最高使用温度を超えないようにしてください。全ての装置の説明書の<b>技術仕様</b>を参照してください。</li> <li>装置の接液部部品に適合する液体と溶剤を使用してください。全ての機器取扱説明書の<b>技術仕様</b>を参照してください。液体と溶剤の製造元の警告を参照してください。ご使用の素材に関する完全な情報については、販売代理店または小売店より SDS (安全データシート) を取り寄せてください。</li> <li>機器が通電中あるいは加圧中の場合は作業場を離れないでください。</li> <li>装置を使用していない場合は、すべての装置の電源を切断し、<b>圧力開放手順</b>に従ってください。</li> <li>毎日、機器を点検してください。製造元純正の交換用部品のみを使用し、磨耗または破損した部品を直ちに修理または交換してください。</li> <li>装置を改造または変更しないでください。装置を改造または変更すると、認証機関の承認が無効になり、安全上の危険が生じる場合があります。</li> <li>すべての装置が、それらを使用する環境用に認定され、承認されていることを確認してください。</li> <li>装置を定められた用途以外に使用しないでください。詳しくは販売代理店にお問い合わせください。</li> <li>ホースとケーブルは通路、鋭角のある物、可動部品、高温の装置から離してください。</li> <li>ホースをねじったり、過度に曲げたり、ホースを使用して装置を引き寄せたりしないでください。</li> <li>子供や動物を作業場に近づけないでください。</li> <li>適用される全ての安全に関する規制に従ってください。</li> </ul>
 	<p><b>有毒な液体又は蒸気の危険性</b></p> <p>有毒な液体や気体が目に入ったり、皮膚に付着したり、それらを吸い込んだり、飲み込んだりすると、重傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全データシート (SDS) を読み、ご使用の液体に特有の危険性について熟知してください。</li> <li>有毒な液体は保管用として許可された容器に保管し、廃棄する際には適用されるガイドラインに従ってください。</li> </ul>

 <b>警告</b>	
	<p><b>火傷の危険性</b></p> <p>装置表面及び加熱された流体は、操作中大変熱くなることがあります。重度の火傷を避けるためには：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 高温の流体や装置に触らないでください。</li> </ul>
	<p><b>作業者の安全保護具</b></p> <p>作業場にいる際、目の怪我、難聴、毒性ガスの吸引、および火傷を含む大怪我から自身を守るために、適切な保護具を身につける必要があります。保護具には以下のもの含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 保護メガネと聴覚保護。</li> <li>• 液体および溶剤の製造元が推奨するマスク、保護衣および手袋。</li> </ul>
	<p><b>安全な使用のための特別条件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 静電気の帯電の危険性 静電気の放電の危険性を緩和するために湿った布で表面を拭き、追加の技術については、指示をお読みください。</li> <li>• 各アジテーターの周囲温度範囲は、アセンブリに含まれるエアモーターに依存します。詳しくは、取扱説明書の <a href="#">モデル, page 3</a> および <a href="#">技術仕様, page 53</a> をご覧ください。</li> </ul>

# 取り付け

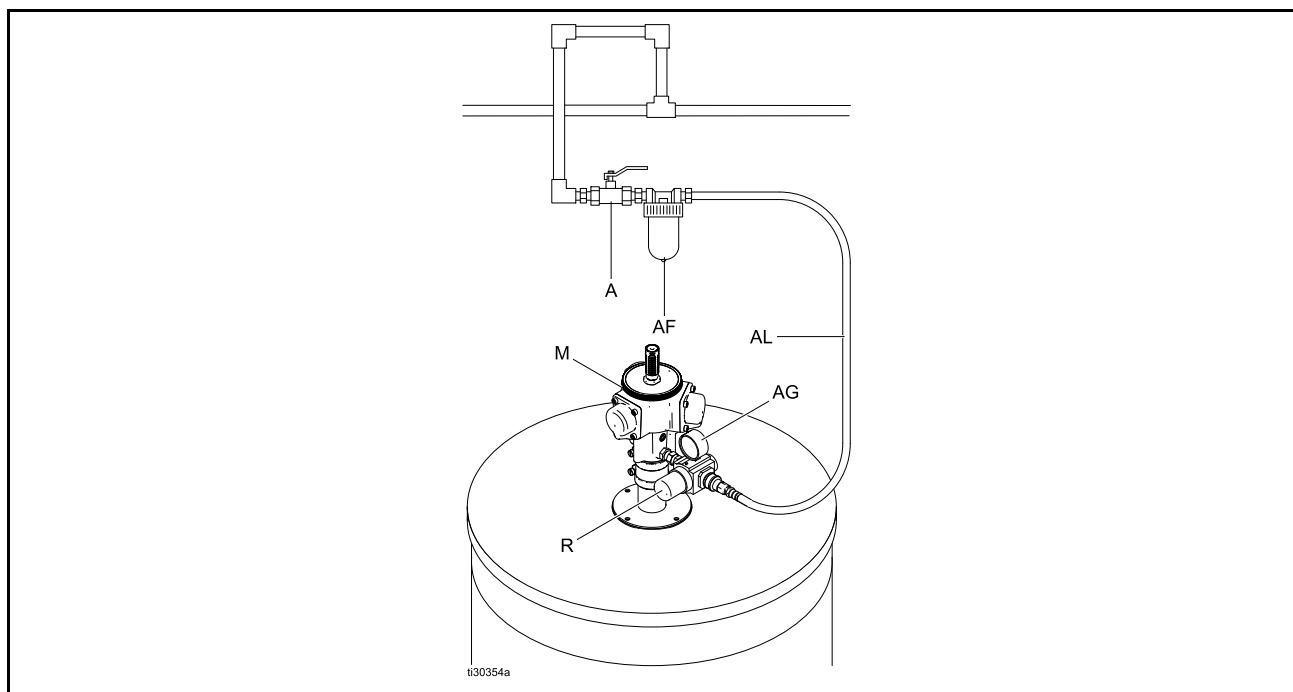
				
<p>火災や爆発の危険性を減らすために、回転するアジテーター部品と容器の間に最低25.4 mm(1インチ)の隙間を空けて火花が接触しないようにします。</p>				

**Note**

本文のカッコ内の参照番号と文字は、図および部品図面の引き出し線記号に対応しています。

システムに含まれていない部品については [エアラインアクセサリー](#), page 18を参照してください。

Table 1 代表的な設置例



リファレンス	説明
A	ブリード型マスターエア遮断バルブ
AF	エアラインフィルター
M	モーター
AL	給気ライン、エアイン
AG	エア圧ゲージ
R	レギュレーター



## エアレギュレーターとマフラー

エアモータは、エアレギュレーターが取り付けられている場所に応じて、時計回りまたは反時計回りに動作することができます。

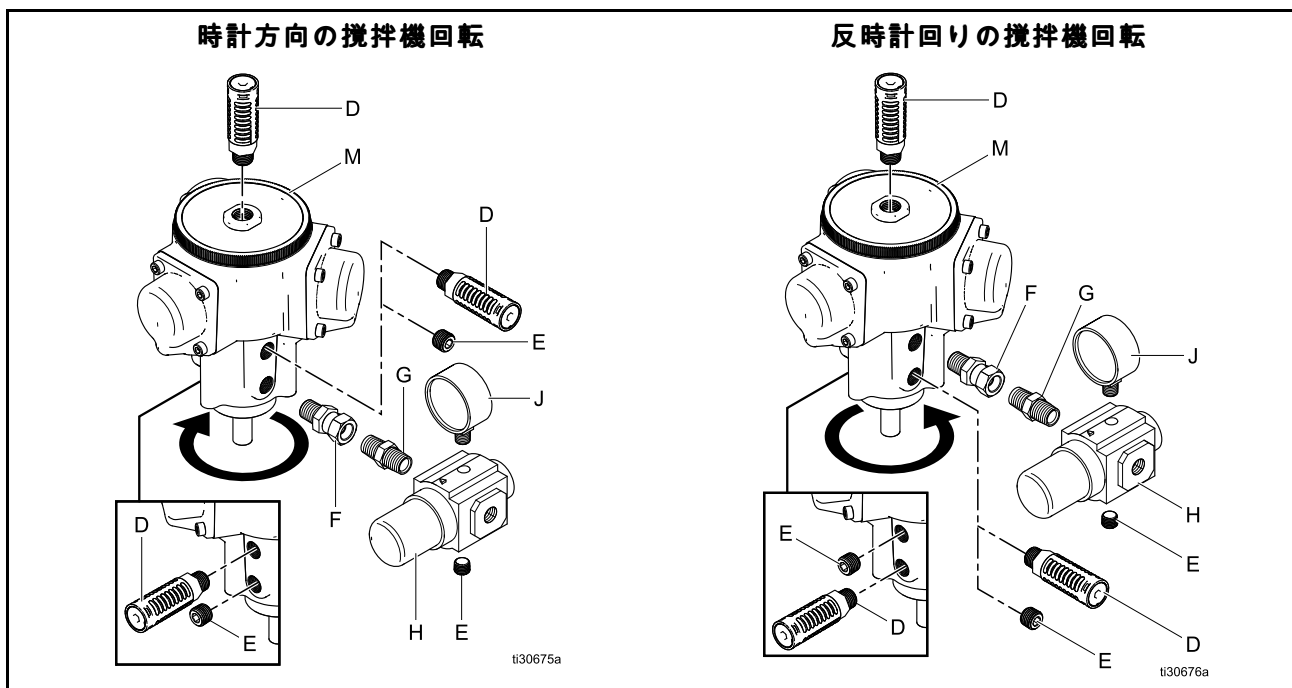
- エアレギュレーターがモータの下部ポート2つのうちの1つに取り付けられている場合、モータの上から見て時計回りに回転します。
- 2つの上部ポートのどちらか一方の側に取り付けると、反時計回りに回転します。
- モータが作動するには、レギュレーターの反対側のポートを接続する必要があります。

エアレギュレーター、マフラー、エアゲージ、ニップルコネクタ、およびスイベルコネクタは工場出荷時には取り付けられていません。これらの部品を取り付けるには、以下の指示に従ってください。

1. スイベルコネクタ (F) をモータ (M) の好みのポート (上部または下部) にねじ込みます。
2. ニップルコネクタ (G) をエアレギュレーター (H) のアウトレットにねじ込みます。レギュレーターの矢印の方向に注意してください。

3. スイベルコネクタにエアレギュレータをねじ込んで取り付けます。
4. レギュレーターの反対側のポートにプラグ (E) を取り付けます (これはモータの動作に必要です)。
5. エアゲージ (J) をエアレギュレーター上部の穴にねじ込んで取り付けます。
6. エアゲージの反対側のポートにあるレギュレーターのプラグ (E) を取り付けます。
7. 1つ目のマフラー (D) をモータの上部にねじ込みます。
8. 2つ目のマフラーを、レギュレーターからモータの反対側にある開口部にねじ込みます。
9. 3つ目のマフラーをレギュレーターの上または下の開口部に取り付けます。レギュレータをモータからさらに離して配置するには、追加の取り付け金具が必要になる場合があります (提供されていません)。

注: 3番目のマフラーの使用は必須ではありませんが、湿気が多い環境での空気循環を増やすには有利になります。3番目のマフラーを使用しない場合は、穴を塞ぐ必要があります (E)。



参照文	説明
D	マフラー
E	プラグ
F	スイベルコネクタ
G	ニップルコネクタ
H	エアレギュレーター

取り付け

**時計方向の攪拌機回転**

ti30675a

**反時計回りの攪拌機回転**

ti30676a

参照文	説明
J	エアゲージ
M	エアモーター

## アジテーター

				
<p>火災や爆発の危険性を減らすために、回転する攪拌部品と容器の間に最低25.4 mm(1インチ)の隙間を空けて火花が接触しないようにします。</p>				

### モデル 25C528、25C533、および 25M481

- カバーに穴を開けて穴をあけ、アジテーターを取り付けます。寸法については、[取り付け穴の配置, page 50](#)を参照してください。
- ガスケット (29) を取り付けした状態で、アジテーターを液体供給タンクのカバーに取り付けます。を参照してください：
  - [モデル25C528, page 27](#)
  - [モデル 25C533, page 29](#)
  - [モデル 25M481, page 31](#)
- 他のシステムコンポーネントを邪魔することなく、エアラインがエアレギュレータの入り口に容易に接続されるようにエアモーターを配置します。
- 所定の位置にボルトで固定します (取り付けボルトは含まれていません)。

### モデル25C529

アジテーターをドラムまたはタンクの端に取り付け、クランプスクリー (6) をしっかりと締めてください。リテーナ (17) の端を握って所定の位置に固定します。 [モデル25C529, page 33](#) を参照してください。

ドラム内の攪拌機の角度を調整するには、ブラケットのネジ (4) をゆるめ、他のシステムコンポーネントを妨げずにエアラインがエアレギュレータの吸気口に簡単に取り付けられるようにエアモーターを配置します。

### モデル 25C534 および 25C535

ドラムの栓穴にらせん (5) をねじ込み、栓穴に攪拌機ハウジング (3) をねじ込むことで、容器カバーに攪拌機を取り付けます。ソケットヘッドネジ (2) を150 - 170インチポンド (17 - 19N・m) のトルクで締め付けます。六角ヘッドのキャップねじ (14) を、80 - 100インチポンド (9 - 11 N・m) のトルクで締め付けます。 [モデル 25C534、25C535, page 35](#) を参照してください。

他のシステムコンポーネントを邪魔することなく、エアラインがエアレギュレータの吸気口に容易に接続されるようにエアモーターを配置します。

### モデル 25C530

攪拌機を容器カバーに取り付けるには、折りたたみ式ブレードアセンブリ (5、6) でシャフト (2) をドラム栓の穴に通して下げ、次に栓アダプター (4) を栓の穴にねじ込みます。 [モデル 25C530, page 37](#) を参照してください。

他のシステムコンポーネントを邪魔することなく、エアラインがエアレギュレータの吸気口に容易に接続されるようにエアモーターを配置します。

ドラムの高さのばらつきにより、最も低いブレードセットがドラムの底部に接触する可能性があります。バングアダプター (4) が完全に固定されていない場合、または攪拌機を取り付けるときに抵抗が感じられる場合は、ブレードをシャフトの上に動かします。

ブレードを動かすには、カプラの止めネジ (SS) を緩めて、アセンブリを目的の位置まで上下にスライドさせます。止めネジは、ブレードが垂れ下がった状態で常に上にあるようにして、ブレードが栓穴に出入りできるようにします。

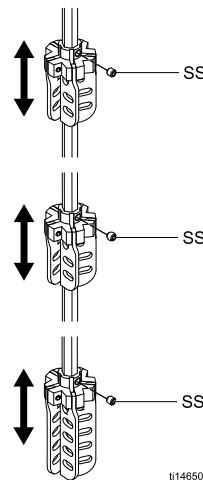


Figure 1 調整可能な刃のアセンブリ

				
<p>火災や爆発の危険性を減らすために、改造されたドラムを使用するときは、接触による火花を避けるためにドラムの基部と攪拌機のシャフトの間に干渉がないことを確認してください。</p>				

#### 注意

振動によるネジの損傷を防ぐため、攪拌機をドラム栓にしっかりと固定してください。

## アングルアダプター16H294 — モデル 25C530専用

攪拌機が偏心栓付きのドラムで使用され、ブレードがドラムの側面に接触する場合は、角度付きアダプタ16H294を使用する必要があります。

1. ロックリング (28) を斜めのアダプター (27) に手でねじ込みます。
2. 斜めになったアダプターを底が出るまでバンクにねじ込み、次にアダプターの一番上の最も広い部分がドラムの中心のちょうど左を向くまで後ろに戻します。

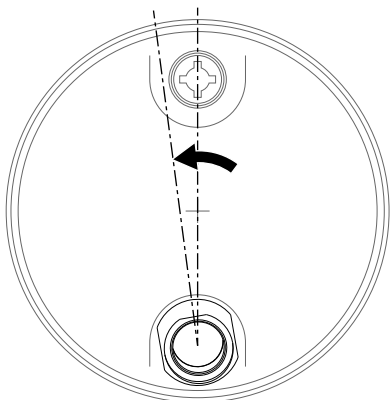


Figure 2 中心のすぐ左にあるアングルアダプター

3. ドラムに接触するまでロックリングを下げます。適切なサイズのパイプレンチまたはモンキーレンチを使用して、アダプタ上部の最も広い部分がドラムの中心と一致するまでアダプタを締めます。

## バックギア式アジテーター モデル 26BB618、26B619、26B630、26B631、26B632および26B633

パーツの情報については、次のセクションを参照してください：

- モデル 26B618、26B619, page 42
- モデル 26B630、26B631、238250, page 40
- モデル 26B632、26B633, page 44

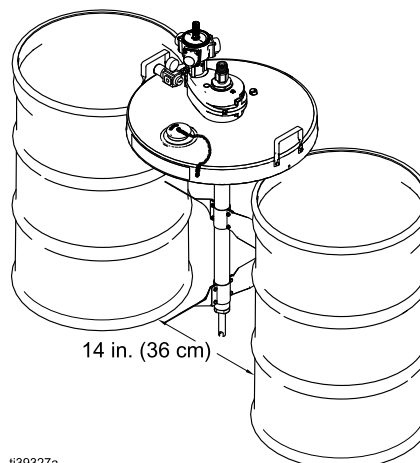
## アジテーターのアセンブリおよび位置決定

### エレベーターがある場合

取り扱い説明書の306287に記載されているように、ドラム缶カバーを取り付けてください。エレベーター上のアジテーターまたはドラム缶カバーのアセンブリの作業をするときは、エレベーターは下部の位置にあることが必要です。エレベーターが上がっているときに、その下に入らないでください。[エレベーターがある場合または、ない場合の取り付け, page 13](#)の手順1に進みます。

### エレベーターがない場合

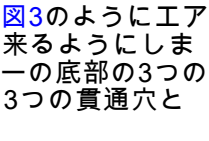
装置にエレベーターがない場合、ドラム缶カバーおよびアジテーターの取り扱いを容易にするために、ハンドルキット237524を取り付けます。ドラム缶カバーおよびアジテーターを安全に持ち上げて移動するには2人必要です。標準的な55米国ガロン (45英ガロン) の樽を2個14インチ (36cm) 離して置きます。下図のように、Gracoのロゴが中央で手前になるようにドラム缶カバーを樽の中央に置きます。[エレベーターがある場合または、ない場合の取り付け, page 13](#)の手順1に進みます。



ti39327a

Figure 3 エレベーターなしでのアジテーターのアセンブリおよび位置決定

## エレベーターがある場合または、ない場合の取り付け

1. ドラム缶カバーの中央にある大きな穴からアジテーターのシャフトを滑らせます。
2. アジテーターを回転させて、のようにエアモーターがシャフトの左側に来るようにします。この位置で、アジテーターの底部の3つのタップ穴がドラム缶カバーの3つの貫通穴と適合します。
3. 3本の六角ネジ (25) をドラム缶カバーを通して、アジテーターにねじ込みます。ネジを 8.4 N・m (75インチ-ポンド) のトルクで締めます。
4. 一対のアジテーターの刃 (28) を、刃の半分にある4つの貫通穴が並ぶようにアセンブリします。刃の方向は、[モデル 26B630、26B631、238250, page 40](#)および [モデル 26B632、26B633, page 44](#)を参照してください。
5. 4本のキャップねじ (31) を刃の4つの穴に通し、ロックナット (32) をキャップねじに始動させます。
6. ゆるい刃のアセンブリをシャフトの上に滑らせ、シャフトの底から約33cm (13インチ) の位置に置きます。
7. 4本のロックナット (32) を均等に締め付けて、刃がシャフトにしっかりと固定されるまで引っ張ります。ロックナット (15) を 5.6 - 6.2 N・m (50-55 フィート-ポンド) のトルクで締め付けてください。刃の半分に隙間が残ります。
8. アジテーターの次の一対の刃に手順4および5を繰り返します。
9. 次の刃のアセンブリをシャフトの下端の近くだけけどボトムプラグ (20) の上ではないところに置きます。
10. 下部の刃のアセンブリを回転させて、上方の刃のアセンブリと90度になるようにします。ロックナット (32) を 5.6 - 6.2 N・m (50-55 フィート-ポンド) のトルクで締め付けます。刃の半分に隙間が残ります。

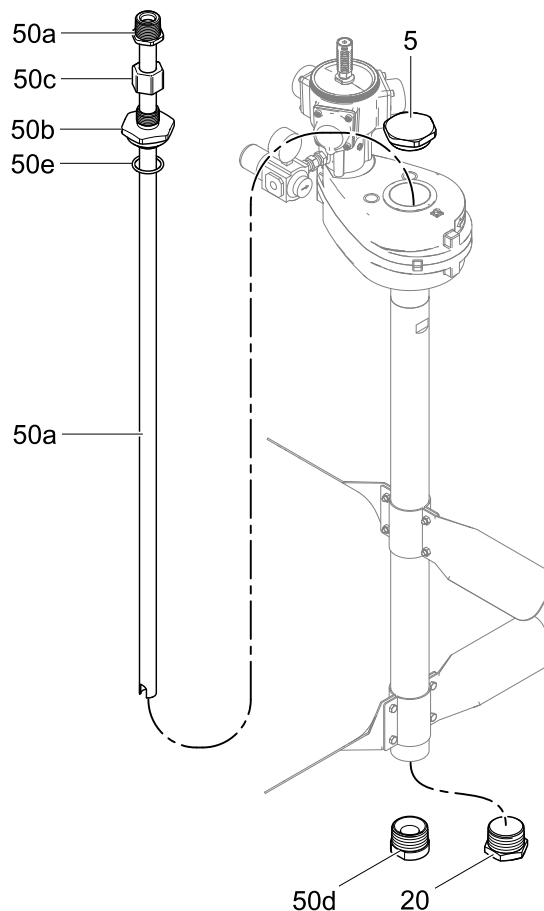
## ドラム内の頑丈なバックギア式アジテーターの取り付け

1. どのサイズのアダプターナット (20) が必要か決定します。キットのアダプターナットはダブルサイズなので、それぞれ2種類のアジテーターのシャフトのサイズに対応できます。アダプターをドラム缶内部の内蔵アジテーターのシャフトに置いて必要なサイズを選択します。適合する最小サイズのものを使用します。アダプターナットとシャフトの間には、わずかな滑りのみある状態でなければなりません。
2. 使用する側を下にして、ギアボックスの出カシャフト (6) にアダプタをねじ込みます。レンチの平坦部を使用して、締め付けます。
3. ネジ付き栓のハウジングアダプタ (34) をギアボックスに置き、ボルト穴の位置を合わせます。
4. 3本のボルト (28) をギアボックスにねじ込み、13.5Nm (10ft-ポンド) のトルクで締め付けます。
5. 55ガロンドラム缶の内蔵シャフトとかみ合うようにアダプタナットを合わせます。
6. 55ガロンドラムの中央栓の金具のネジ山にユニットをゆっくりとねじ込みます。手で締めてユニットを固定します。ユニットをドラム缶から容易に外れないようにします。

## サイフォンキットの取り付け

サイフォンキット238250の取り付けは、この手順を使用します。モデル26B630、26B631、238250, page 40を参照してください。

1. トッププラグ (5) および底部プラグ (20) を取り外します。
2. 底部プラグ (20) をプレーンベアリング (50d) と交換し、レンチでベアリングを締め付けます。
3. PTFEOリング (50e) をサイフォンチューブのリテーナー (50b) に動かします。保持ナット (50c) をサイフォンチューブのリテーナーに残しますが、締め付けしないでください。サイフォンチューブのリテーナーをアジテーターハウジングにレンチでしっかりと締め付けます。
4. サイフォンチューブ (50a) を保持ナット (50c)、サイフォンチューブリテーナー (50b) およびアジテーターのシャフト (6) を通してサイフォンチューブがドラム缶の底に触れるまで滑らせます。サイフォンチューブをおよそ1/4インチ (約6mm) 上げて、ドラム缶の底に触れないようにします。片手でサイフォンチューブをこの高さに保ちながら、もう一方の手で保持ナットを締め付けます。(サイフォンチューブを所定の位置に保持するには手で締め付けるだけで十分です。)



ti39329a

Figure 4 サイフォンキット、モデル 238250

### 注意

**バレルの高さはいろいろです。**

ドラム缶カバーを持ち上げる前に、サイフォンチューブのリテーナーの保持ナットを緩めます。保持ナットを緩めておかないと、ドラム缶カバーを新しいバレルに下げた時にサイフォンチューブがバレルの底部に触れて、サイフォンチューブやバレルを損傷する恐れがあります。

## 戻りチューブキット238884 (アクセサリ)

戻りチューブキット238884は、アクセサリとして使用できます。キットは別途注文する必要があります。取り付けの指示については、キットにバックされているパンフレットを参照してください。

## 後付けキット25T862

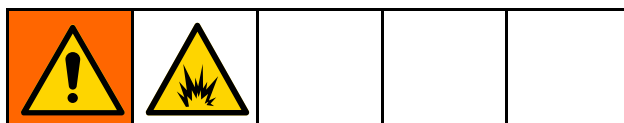
後付けキット25T862は、ギアボックスおよびエアモーターに6：1ギア減速を提供する簡単に使える交換部品です。24：1でギア減速するバックギア式アジテーターのモデルを、高粘度材料で運転する場合は、キット25T862を使用してください。対象になるモデルは、231413、231414、238157、24029、24C522および、24C293です。

構成に合った組み立て手順を使用してください。

- 26BB618または26B619への取り付け, page 15
- 26BB630または26B631への取り付け, page 15
- 26BB632または26B633への取り付け, page 16

### Note

後付けキット25T862は、キットに含まれている25C765ラジアルピストンエアモーターとだけ使用してください。このキットの6：1ギアボックスと使用した場合、回転翼式エアモーター（部品番号101140）が損傷する危険があります。



火災や爆発の危険性を減らすために、改造されたドラム缶を使用するときは、接触による火花を避けるためにドラム缶の基部とアジテーターのシャフトの間に干渉がないことを確認してください。

### 注意

振動によるネジの損傷を防ぐため、攪拌機をドラム缶にしっかりと固定してください。

## 26BB618または26B619への取り付け

ドラム内の頑丈なバックギア式アジテーター用

パーツの情報

は、モデル 26B618、26B619, page 42をご覧ください。

1. 既存のアジテーターへの圧力を開放します。圧力開放手順, page 21に従ってください。
2. 55ガロンのドラム缶の中央の栓の金具からギアボックスユニットのネジを外します。
3. 55ガロンのドラム缶の内蔵シャフトからユニットを外し、取り出します。
4. ギアボックスの3本のボルト（28）を外します。
5. ギアボックスからネジ付き栓のハウジングアダプタ（34）を取り外します。

6. ギアボックスの出力シャフト（6）からアダプタ（20）をネジを外して取り出します。

7. 追加部品キット25T862を使用して、ギアボックスおよびエアモーターユニットを交換します。  
ドラム内の頑丈なバックギア式アジテーターの取り付け, page 13の取り付け手順2 - 6を繰り返して、アジテーターアセンブリを再装着してください。

## 26BB630または26B631への取り付け

エレベーターのない頑丈なバックギア式アジテーター用

パーツの情報

は、モデル 26B630、26B631、238250, page 40をご覧ください。

1. 既存のアジテーターへの圧力を開放します。圧力開放手順, page 21に従ってください。
2. アジテーターのアセンブリおよび位置決定, page 12のエレベーターのない場合の指示に従って、ドラム缶カバーとアジテーターを取り外し、置きます。
3. アジテーションシャフト（6b）からギアボックスの出力シャフトを、両方のレンチの平坦部を使って、慎重に分離します。
4. ギアボックスをドラム缶カバーに取り付けているネジ（25）を緩めることで、ドラム缶カバーからアジテーターアセンブリを取り外します。
5. 追加部品キット25T862を使用して、ギアボックスおよびエアモーターユニットを交換します。
6. アジテーターアセンブリをモーターが左になるように再度取り付け、ギアボックスのネジ山を、ドラム缶カバーの取付穴に合わせます。3本の六角ネジ（25）をドラム缶カバーを通してアジテーターにねじ込みます。ネジを 8.4 N•m (75 インチ-ポンド) のトルクで締めます。
7. アジテーターシャフト（6b）をギアボックスの出力シャフト(6a)に再接続します。レンチの平坦部を使って、締め付けます。
8. ドラム缶のカバーとアジテーターを交換し、材料の入ったドラム缶に戻します。

## 26BB632または26B633への取り付け

エレベーターがある場合の頑丈なバックギア式アジテーター用

パーツの情報

は、[モデル 26B632、26B633, page 44](#)をご覧ください。

1. 既存のアジテーターへの圧力を開放します。[圧力開放手順, page 21](#)に従ってください。
2. ドラム缶のエレベーターを上げて、材料のドラム缶からアジテーター アセンブリを取り外します。
3. ドラム缶を取り外し、邪魔にならない場所に置きます。エレベーターが上がっているときは、下に入らないでください。
4. エレベーターを下部の位置まで下げてください。アジテーター、ドラム缶カバー、アセンブリの作業を行う時は、エレベーターは下部に下げしておく必要があります。
5. アジテーターのシャフト (6b) からギアボックスの出力シャフト(6a)を、両方のレンチの平坦部を使って慎重に分離します。
6. ギアボックスをドラム缶カバーに取り付けているネジ (25) を緩めて、ドラム缶カバーからアジテーターのアセンブリを取り外します。
7. 追加部品キット25T862を使用して、ぎあぼっくすおよびエアモーターのユニットを交換します。
8. アジテーターのアセンブリをモーターを左側にして再取り付けし、ギアボックスのネジ山をドラム缶カバーの取付穴に合わせます。3本の六角ネジ (25) をドラム缶カバーを通してアジテーターにねじ込みます。ネジを 8.4 N•m (75 インチ-ポンド) のトルクで締めます。
9. アジテーターのシャフト (6b) をギアボックスの出力シャフト(6a)に再接続します。レンチの平坦部を使って締め付けます。
10. ドラム缶のエレベーターを上部の位置に上げます。エレベーターが上がっているときは、下に入らないでください。
11. ドラム缶を、アジテーターの下になる最初の位置に戻します。
12. アジテーターを慎重にドラム缶内に戻しながら、エレベーターをゆっくり下部の位置まで下げます。エレベーターが下がるときに、ドラム缶カバーとドラム缶の間に指や手などが無いことを確かめてください。

## モデル 25N881 および 25N882

パーツの情報

は、[モデル 25N881、25N882, page 38](#)を参照してください。

1. アジテーターシャフトのサイズを決めます。11.1 mm (7/16インチ) または 12.4 mm (1/2インチ) の正方形。シャフトアダプター (9) のサイズを確認してください。アダプターをドラム内部の内蔵攪拌機シャフトに置いてサイズを選択します。収まる最小のアダプターを使用します。アダプターナットとシャフトの間には、わずかな滑りのみある状態であればなりません。
2. シャフトアダプター (9) をモーターの底部近くのモーターシャフトの平らな側に取り付けます。セットネジ (12) を 11 - 12 N•m (8 - 9 ft-ポンド) でしっかりと締めます。

### Note

後の調整のために必要ならば、モーターシャフト上のアダプターシャフトの調整ストロークの約1/2インチ (12 mm) があります。

3. ソケットヘッドネジ (8) を 15 ft-ポンド (20 N•m) のトルクで締めます。
4. ネジ付きハウジングアダプター (6) をモータープレート (7) の上に置き、ワッシャー (13) とスクリュー (11) で固定してください。8 - 9 ft-ポンド (11 - 12 N•m) のトルクで締めます。
5. 55ガロンドラムの内蔵シャフトとかみ合うようにアダプターナットを合わせます。
6. 55ガロンドラムのセンターバング継手のネジ山にユニットをゆっくりとねじ込みます。モーターが栓の中で回転しないようにしっかりと固定してください。

## モーター交換キット 25C765

モーター交換キット25C765は、部品番号206758、207953、222698、206760、203711、204995、206219の既存のアジテーターに使用されている回転翼式エアモーター (部品番号101140) の簡単にできる交換用部品です。[モデル25C528, page 27](#)を参照してください。参照番号1に、キットに含まれているアイテムがリストされています。アジテーター取扱説明書のモーター交換手順または部品ページ図を使用して、新しいモーターを取り付けます。

### 注意

液体にモーターの底部を浸したり、水はねさせたりしないでください。モーター底部にあるベアリングおよびシャフトが腐食する可能性があります。



## 追加部品キット 19Y592

モーター交換キット19Y592は、回転翼付きエアモーター部品番号101687を使用する既存の5 - 10ガロンペール缶アジテーターの部品番号226086、224572、224571、243340に後付けで使用します。

1. 既存のアジテーターへの圧力を開放します。 [圧力開放手順, page 21](#)に従ってください。
2. ペール缶からカバーを取り外します。
3. カップリングのセットネジを緩めて、既存のアジテーターからシャフトまたは刃を取り外します。シャフトまたは刃を洗浄します。
4. ペール缶の蓋から既存のモーターを取り外します。
5. 既存のカラーに新しいモーターまたはスリーブを差し込み、セットネジを締め付けます。
6. 新しいカップリングにシャフトを差し込み、セットネジを締め付けます。必要に応じて、長さを多少調整する余裕があります。
7. ペール缶にカバーを差し込みます。
8. エアラインを取り付けます。アジテーターの速度は、エアレギュレーターの圧力を調整することで加減します。

### Note

アジテーターの回転方向は、エアモーターに使用されている供給ポートで決定されます。 [エアレギュレーターとマフラー, page 9](#) を参照してください。

### 注

モーターの底部を液体に浸けたり水をかけたりしないでください。モーター底部のベアリングやシャフトが腐食する可能性があります。

## 接地

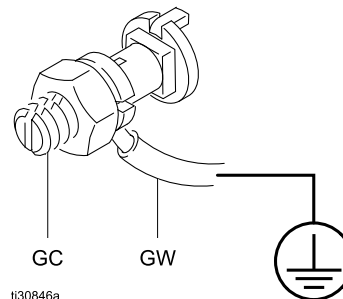
				
---	--	---	--	--

静電気火花による危険性を抑えるため、装置は必ず接地してください。静電気によるスパークによって、気体の引火または爆発が生じることがあります。静電スパークの危険性を減らすには、取り付けカバーとスプレー領域内のすべての導電性の物体または装置を正しく接地する必要があります。

接地線とクランプは含まれていません。接地線とクランプは、部品番号 237569 を注文してください。

アジテーターを接地するには、次の手順に従います。

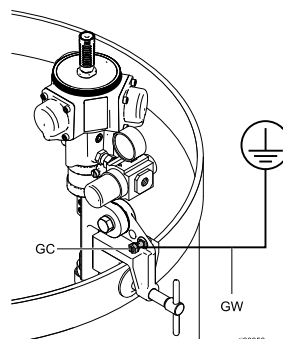
- モデル 25C528、25C533、25M481、26B618、26B619、26B630、26B631、26B632および26B633用 接地線 (GW) の一方の端をドラム缶カバーの縁にある接地コネクタ (GC) に接続します。接地線のもう一端を実際の土の地面に接地して下さい。



ti30846a

Figure 5 接地コネクタ - モデル 25C528、25C533、および 25M481

- モデル 25C529、25C530、25C534、25C535、25N881、および 25N882用：接地線 (GW) の一方の端をアジテーター接地コネクタ (GC) に接続します。接地線のもう一端を実際の地面に接地して下さい。



i30353a

Figure 6 接地コネクタ - モデル 25C529

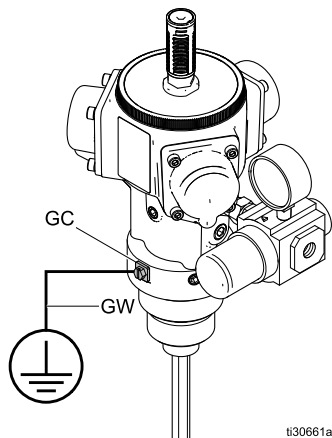


Figure 7 アースコネクタ - モデル25C530

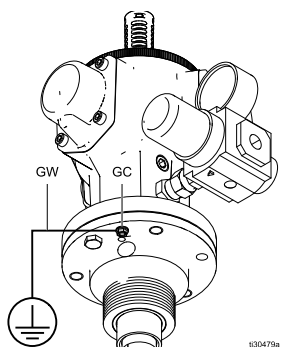


Figure 8 アースコネクタ - モデル25C534、25C535

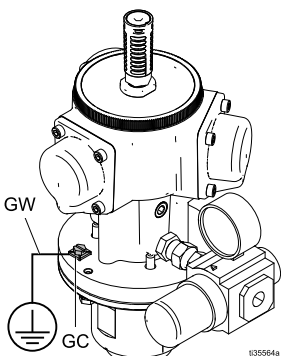


Figure 9 アースコネクタ - モデル25N881、25N882

## エアラインアクセサリ

必要に応じてアダプターを使用し、以下のアクセサリを順に取り付けてください。

## エア遮断バルブ

取り付け位置用のブリードタイプのマスターエア遮断バルブ (A) は、整備の際にエアラインコンポーネントを分離します。エアシャットオフバルブを供給ラインに取り付け、攪拌機の停止および始動に使用する必要があります。バルブが取り付けられている場合は、使用するたびに攪拌機の速度を設定する必要はありません。

下記の部品番号を使用して、ブリードタイプのエア遮断バルブを注文してください。

Table 2 ブリードタイプシャットオフバルブ

部品番号	入り口/ア ウトレッ ト npt	最大WPR			材質
		psi	bar	MPa	
110223	1/4 (fxf)	250	17.2	1.7	真鍮
110224	3/8 (fxf)	250	17.2	1.7	真鍮
110225	1/2 (fxf)	250	17.2	1.7	真鍮
110226	3/4 (fxf)	250	17.2	1.7	真鍮
113163	1 (fxf)	250	17.2	1.7	真鍮
107142	1/2 (mxf)	250	17.2	1.7	真鍮
107141	3/4 (mxf)	250	17.2	1.7	真鍮

## エアラインフィルター

エアラインフィルターは、圧縮エアの供給から、有害なほこり、湿気およびオイルを取り除きます。3/8 nptの場合は部品106148、1/2 nptの場合は106149を注文してください。

エアラインフィルター (AF) は、圧縮された給気からほこり、湿気およびオイルのような汚染物質を取り除きます。エアラインフィルター (AF) は、圧縮エアの供給から、有害なほこりや湿気を取り除きます。3/8 nptの場合は部品106148、1/2 nptの場合は106149を注文してください。 [取り付け, page 8](#) を参照してください。

## エアの要件

エアモータは潤滑エアを必要としません。要件については、 [エア消費量, page 51](#) を参照してください。

給気をエアレギュレータの吸気口側に接続します。

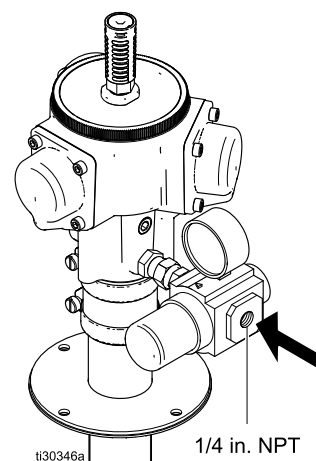


Figure 10 給気ホースの接続

## 操作

				
<p>目にはねるなどの怪我は、タンク内の圧力が原因で発生する可能性があります。タンクカバーまたは注入口を開ける前に必ず <b>圧力開放手順</b>, page 21 に従ってください。</p> <p>重い機器を持ち上げたり落下させたりすると、怪我や機器の損傷を招く恐れがあります。人身傷害または機器の損傷を避けるために:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な支援がない状態でドラムカバーとアジテーターを持ち上げないでください。</li> <li>上げられたエレベーターの下を歩いたり立ったりしないでください。</li> </ul>				

### アジテーター操作

1. エア遮断バルブ (SV) を開いてアジテーターを始動します。エアレギュレーター ノブ (R) で速度を調整します。
2. 塗料やその他の液体をシステムに供給するときには、攪拌機を連続的に運転してください。
3. エア遮断バルブを閉じるか、エアレギュレーター ノブで圧力を下げてアジテーターを停止します。

#### 注意

アジテーターの速度は、常に中程度を保ちます。アジテーターの回転速度が速すぎると、振動、液体の泡立ちおよび、部品の摩耗が増える原因になる可能性があります。液体は、分注装置に移す前に、必ず十分に攪拌してください。分注装置に移している間、液体を攪拌し続けます。

液体供給容器をアジテーターの刃の約75~100 mm(3または4インチ) 上まで満たして、アジテーターの損傷の原因になる過度の振動を避けます。

### バックギアの操作

1. エアレギュレーターのノブを反時計回りに回して、エア圧力がゼロからスタートします。
2. エア遮断バルブ (A) を開きます。
3. エアレギュレーターのノブ (R) を使用してアジテーターの速度を調整します。点検口を通して見ながら、液体の表面に動きが見えるようになるまで徐々に速度を上げます。液体の表面に渦ができるほどには、アジテーターの速度を上げないでください。表面に渦ができ始めたら、空気の巻き込みを防ぐためにアジテーターの速度を下げます。

#### 注意

アジテーターの刃がだいたい50rpmになる、中程度の速度を常に維持してください。アジテーターの回転速度が速すぎると、振動、液体の泡立ちおよび部品の摩耗の原因になる可能性があります。液体を分注装置に移す前に、十分に攪拌します。液体を分注装置に移している間は、攪拌し続けてください。

## 適切な攪拌機速度の検索

### 注意

装置の損傷を防ぐために、攪拌機を長時間高速で操作しないでください。攪拌機の回転速度が速すぎると、液体の発泡（液体の使用不能）、振動、部品の摩耗が増える可能性があります。均一な混合を維持するのに十分な流体だけを攪拌します。

攪拌機は固体を懸濁状態に保つために使用され、これは固体がサイフォン管を詰まらせにくくします。容器内に固形物が沈殿した場合は、攪拌機を設置して操作する前に、シェーカーなどの装置を使用して液体を完全に攪拌します。

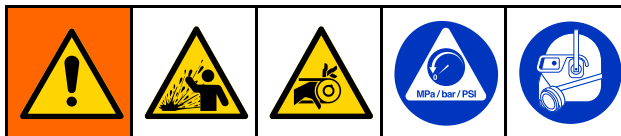
下記は推奨される攪拌速度を見つける一般的な手順です。推奨される攪拌速度に関する具体的な推奨事項については、材料供給元にお問い合わせください。

1. アース線が接続されていることを確認してください。接地, page 17 を参照してください。
2. 液体供給容器をアジテーターの刃の約75~100 mm(3または4インチ) 上まで満たします。
3. エア遮断バルブ (A) を開きます。
4. 塗料に渦が発生し始めるまでエア圧力を上げるためにエアレギュレーターのカノピー (R) を徐々に回してアジテーターを始動させます。
5. 速度を少し遅くしてから、液体容器を満たします。

容器が一杯になると渦は見られないはずですが。適切な混合を確実にするために、材料は十分に速い速度でのみ動くべきです。

6. 塗料やその他の液体をシステムに供給しながら、攪拌機を連続的に運転します。

## 圧力開放手順



本装置は、圧力が手動で開放されるまで加圧状態が続きます。液体の飛散、可動部品による深刻な負傷の発生を防止するため、装置を洗浄、点検、整備する前に、圧力開放手順に従ってください。

1. ブリード型エア遮断バルブ (A) を閉じて、エアレギュレーターへの圧力を開放します。
2. エアラインを取り外します。

### 注意

アジテーターを直立させておきます。液体が、シャフトから流れ出て、ギアの減速機の周りに流れ込む可能性があるため、横倒しや逆さにしないでください。

## 保守

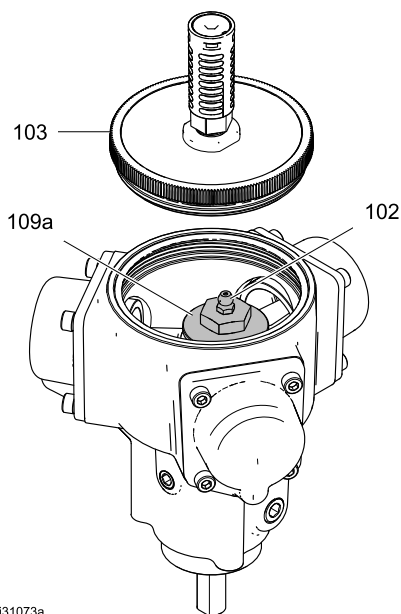
				
<p>インペラブレードなどの可動部品は、指を切ったり切断したりする可能性があります。重大な怪我の危険を減らすために、攪拌機を点検または修理する前に、必ず攪拌機を止めてエアラインを外してください。</p>				

メンテナンス手順通りに進める前に、**圧力開放手順**, page 21 に従って下さい。

### エアモーターへの注油

約2000万回転後、または3、4か月ごと（どちらか早い方）で、モーターニードルベアリングにグリスを塗ります。推奨グリス：MOBILGREASE XHP 222 SPECIAL、またはそれと同等の最低引火点温度204°C (399.2°F) のもの。

1. **圧力開放手順**, page 21 に従ってください。
2. モーター上部カバー ( 103 ) を外します。
3. 手動グリスガンを使用して、グリスがトップワッシャ ( 109a ) の下に見えるまで、グリスを21RCフィッティング ( 102 ) に押し込みます。





ti31073a

### エアモーターマフラー

モーターの環境に応じて、エアモーターマフラーの清浄度を定期的にチェックしてください。エアマフラーが汚れたり詰まったりすると、モーター効率が低下し、モーターが不規則に回転する可能性があります。マフラーが汚れているか詰まっている場合は、新しいマフラーと交換します。

### アジテーターの刃

				
<p>材料は、かき回したり混ぜたりすると静電気を帯びることがあります。火災や爆発を防ぐため、装置を接地させたり、アジテーターに材料を集めないようにしてください。乾燥した材料は、静電気をため、接地の邪魔になることがあります。</p>				

定期的のアジテーターに乾燥材料がたまっていないか点検してください。スプレー材料および洗浄する表面と相性の良い溶剤に浸した布ぎれを使用して洗浄します。さらに、低導性電材料 ( 1000pS/m 以下 ) を使用する場合は、特別な注意が必要になります。

- 高速でかき回したり、混ぜたりすることは避けてください。
- 不溶性の混合物は、避けてください。
- 可能なら、添加物で材料の伝導性を高めます。
- 伝導率の高い ( 1000pS/m 以上 ) 液体を使用します。

## シャフトの洗浄

モデル 25C528、25C533、25M481用

毎週、シャフト (7) のベアリング (6) 部分の周りに乾いた液体を拭き取り、ベアリングに亀裂や過度の磨耗がないか点検してください。

モデル 25C529用

毎週、シャフト (21) のベアリング (18) とブラケット (23) の周りに乾いた液体を拭き取ります。数滴の軽油で潤滑します。

モデル 26B618、26B619、26B630、26B630、26B631、26B632および26B633用

### 注意

アジテーターを直立させます。横倒しや逆さにすると、液体がシャフトを伝ってギアの減速機の周りに流れ込むことがあります。

毎週、ハウジング (13) の近くのシャフトに付着した液体や乾燥した材料をきれいにしてください。ハウジングから1/2インチ (13mm) 以内のシャフトに何か物質がある場合、ベアリングシール (14\*) の損傷を防ぐために取り除かなければなりません。ベアリングシールのフレキシブルリップが破れたり、摩耗して、シャフトの周りすべてと接触していない場合、シールは交換する必要があります。摩耗したシールは、ベアリングの中に異物が入りこみ、早期の故障の原因になることがあります。シールへのアクセス方法と、ベアリング交換キットの部品番号についての指示は、[ギア減速機の整備, page 23](#)をご覧ください。

\* ベアリング交換キット 238251 の付属品

## サイフォンキットを使用したアジテーターの洗浄

以下の手順を使用してサイフォンチューブ (50a) およびアジテーターのシャフト (6) を洗浄し、きれいにします。

1. アジテーターを上げて、ドラム缶から出します。
2. アジテーターのシャフト (6) から平ベアリング (50d) を取り外し、きれいにします。
3. サイフォンチューブからすべての付属品を取り外します。サイフォンチューブを洗浄します。
4. 保持ナット (50c) を緩めて、サイフォンチューブ (50a) をゆっくり持ち上げて、アジテーターから取り出します。
5. サイフォンチューブ (50a) の内側と外側をきれいにします。アジテーターのシャフト (6) の内側を洗浄します。アジテーターの刃 (28) およびシャフトの外側をきれいにします。
6. 手順2 - 4の逆を行い、サイフォンチューブを再組み立てします。

## ギア減速機の整備

この手順を始める前に、手元にベアリング交換キット238251を持っていた方がいいでしょう。ベアリングの取り外しおよび取り付けの指示は、キットに含まれています。

### 分解

1. 既存のアジテーターに圧力を開放します。[圧力開放手順, page 21](#)に従ってください。
2. アジテーターにサイフォンキットがある場合、[サイフォンキットを使用したアジテーターの洗浄, page 23](#)の手順2 - 4を実行します

アジテーターにサイフォンキットがない場合、以下の手順3に進みます。

3. 材料の入ったドラム缶からアジテーターを取り外します。アジテーターをアジテーターのシャフトから分離します (該当する場合) :
  - a. ドラム内のアジテーターの場合 :
    - i. 55ガロンのドラム缶の中央バング金具からギアボックスユニットのネジを外します。55ガロンドラム缶の内蔵シャフトからユニットを外し、取り除きます。
  - b. エレベーターのないアジテーターの場合 :
    - i. ドラム缶カバーおよびアジテーターは、[アジテーターのアセンブリおよび位置決定, page 12](#)の**エレベーターがない場合**を参照して指示に従い、取り外して適切な場所に置きます。
    - ii. アジテーターのシャフト (6b) からギアボックスの出力シャフト(6a)を各シャフト部分にあるレンチの平坦部を利用して、慎重に取り外します
    - iii. ギアボックスをドラム缶のカバーに取り付けているネジ (25) を緩めて、ドラム缶カバーからアジテーターのアセンブリを取り外します。
  - c. エレベーターのあるアジテーターの場合
    - i. エレベーター (102) を上げて、ドラム缶を移動させ邪魔にならないところに置きます。、エレベーターを下げて、下部位置にします。エレベーター、アジテーター、ドラム缶カバーアセンブリの作業をするときは、エレベーターを下部位置にしておくことが必要です。
    - ii. 各シャフト部分にあるレンチの平坦部を利用して、アジテーターシャフト (6b) からギアボックスの出力シャフトを慎重に取り外します。
    - iii. ギアボックスをドラム缶カバーに取り付けているネジ (25) を緩めて、ドラム缶カバーからアジテーターのアセンブリを取り外します。

4. 上部ハウジング ( 8 ) および下部ハウジング ( 13 ) を保持している2本の短いボルト ( 11 ) および2本の長いボルト ( 19 ) を外します。上部ハウジングを慎重に真上に持ち上げて、下部ハウジングと離します。
5. 大型ギア ( 10 ) を反時計回りに回して、アジテーターのシャフトから取り外します。ピニオン ( 3 ) およびギアアセンブリ ( 16 ) を持ち上げて、下部ハウジングから取り出します。
6. 50mmのナット ( 26 ) を反時計回りに回して、アジテーターのシャフトから取り外します。

#### 洗浄および整備

1. 上部ハウジングおよび下部ハウジングの外側についている異物を全て清掃してください。

##### Note

2個の小さなスラストボール ( 4 ) を紛失しないようにしてください。1個は上部ハウジング ( 8 ) に、もう1個は下部ハウジング ( 13 ) にあります。

2. パーツに摩耗がないか点検してください。パーツが摩耗しているか、または損傷している場合は、交換します。ベアリング交換キットには、交換用ベアリングおよびシール ( アイテム2、7、9、12、14および15 ) が入っています。

#### 再組み立て

##### Note

ベアリングおよびシールの適切な配置と向きは、[モデル 26B630、26B631、238250、page 40](#)を参照してください。

1. 下部ハウジング ( 13 ) に通して、アジテーターのシャフト ( 6 ) を再配置します。

##### 注意

ベアリングおよびシールの損傷を防ぐために、下部ハウジングを所定の位置に下げるときに、ネジ式のアジテーターのシャフトにこすらないようにします。

2. 50mmのナットをアジテーターのシャフトに時計回しにねじ込んで、手でしっかりと締めます
3. 小さなスラストボールが所定の位置にあることを確認します。
4. 下部ハウジングにピニオン/ギアのアセンブリ ( 3、16 ) を再配置して、大型のギア ( 10 ) をアジテーターのシャフトにねじ込み、大型ギアは手でしっかりと締め付けます。
5. 慎重にまっすぐ下げて、上部ハウジング ( 8 ) を下部ハウジング ( 13 ) の上に再配置します。
6. 上部ハウジング ( 8 ) および下部ハウジング ( 13 ) を保持する2本の短いボルト ( 11 ) と2本の長いボルト ( 19 ) を再配置して、75インチ-ポンド ( 8.5N・m ) のトルクで締め付けます。
7. 手順3からアジテーターの指示を逆に繰り返して、ドラム缶にアジテーターを再配置してください。**エレベーターがある場合及びない場合のアジテーターには、**取り付けの際に、3本の六角ネジ ( 25 ) を75インチ-ポンド ( 8.5N・m ) のトルクで締め付けます。
8. アジテーターにサイフォンキットがある場合、[サイフォンキットを使用したアジテーターの洗浄、page 23](#)の手順2 - 4を逆に実行して、再組み立てしてください。

#### 追加のアジテーター整備

ベアリング交換キットの取り付け以上のことが必要な場合、修理または交換のためにユニットをGraco販売代理店に送ることをお勧めする場合があります。



## 整備します。



エアモーターに整備キットの取り付け以上のものが必要である場合、修理または交換のためにGraco販売代理店に輸送することが通常最も早く、かつ最も簡単です。

モーター再構築キットが使用できます。詳細については、取扱説明書 3A5050 を参照してください。

### エアモーターの取り外し

#### モデル 25C528、25C529、25C533、25M481

1. 圧力開放手順, page 21 に従ってください。
2. スイベルフィッティング (12) をゆるめて、エアレギュレータを取り外してください。
  - モデル 25C528, page 27 を参照してください。
  - モデル 25C529, page 33 を参照してください。
  - モデル 25C533, page 29 を参照してください。
  - モデル 25M481, page 31 を参照してください。
3. 上部の2つの止めネジ (3) にアクセスできるように、上部クランプ (2) をゆるめ、モーターを上げてください。シャフトから止めネジを外すには、1/8インチの六角レンチを使用します。
4. エアモーターをシャフトからまっすぐ上に持ち上げます。

#### モデル 25C534、25C535

1. 圧力開放手順, page 21 に従ってください。
2. スイベルフィッティング (11) をゆるめて、エアレギュレータを取り外してください。モデル 25C534、25C535, page 35 を参照してください。
3. モーター取り付けプレート (13) をアウトレットハウジング (3) に固定しているネジ (14) を取り外します。
4. 取り付けプレートにモーター (1) を固定しているソケットヘッドネジ (2) を、取り外します。
5. カプラー (4) の上の2つの止めネジ (9) にアクセスできるように、モーターを上げてください。シャフトから止めネジを外すには、1/8インチの六角レンチを使用します。
6. エアモーターをシャフトからまっすぐ上に持ち上げます。

#### モデル 25C530

1. 圧力開放手順, page 21 に従ってください。
2. スイベルフィッティング (9) をゆるめて、エアレギュレータを取り外してください。モデル 25C530, page 37 を参照してください。
3. 3/16インチ六角レンチを使用して、バングアダプター (4) の3本の止めネジ (8) を取り外します。
4. カプラー (3) の上の2つの止めネジ (7) にアクセスできるように、モーターを上げてください。上部の2本の止めネジを取り外すには、1/8インチの六角レンチを使用します。
5. エアモーター (1) をカプラーからまっすぐ上に持ち上げます。

#### モデル 25N881、25N882

1. 圧力開放手順, page 21 に従ってください。
2. スイベルフィッティング (5) をゆるめて、エアレギュレータを取り外してください。モデル 25N881、25N882, page 38 を参照してください。
3. バングアダプター (6) をモータープレート (7) に保持しているネジ (11) を取り外します。
4. モーターを栓アダプター (6) から持ち上げ、モータープレート (7) をモーター (1) に固定しているスクリュー (8) を取り外します。

整備します。

## モデル 26B618、26B619、26B630、 26B631、26B632、26B633

1. 圧力開放手順, page 21に従ってください。
2. エアモーターをギアボックスに固定しているセットネジ ( 18 ) を緩めて、ラジアルピストンエアモーターを取り外します。
3. エアモーターと ( モーターの出力シャフトに取り付けられている ) ピニオンギアを持ち上げます。
4. セットネジ ( 18 ) を緩めて、エアモーターの出力シャフトから離して、ピニオンギアを取り外します。
5. スイベル金具 ( 12 ) をゆるめて、エアレギュレータを取り外してください。

## アウトレットハウジングの調整 — 25C534、25C535 専用

### 注意

アウトレットハウジングの取り付けが不適切な場合、アジテータシャフトがアウトレットハウジングのベアリングに拘束されて損傷する可能性があります。

アウトレットハウジングまたはエアモーターを修理または交換した後、次の手順を実行してください。

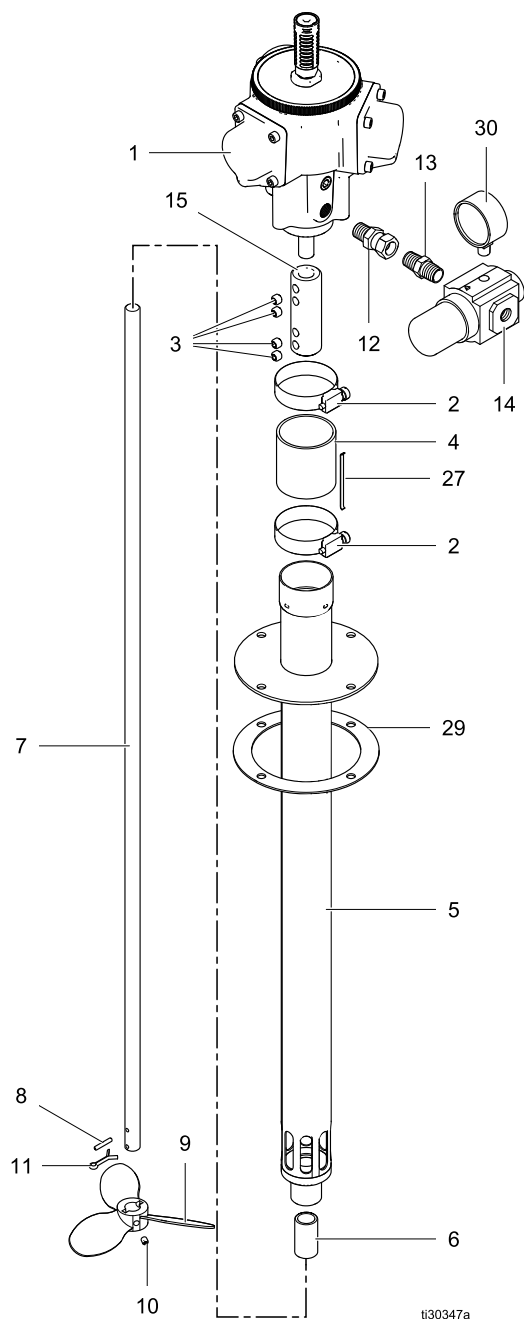
1. 圧力開放手順, page 21に従ってください。
2. 攪拌機を垂直位置に置き、3つのアウトレットハウジングスクリー ( 14 ) をゆるめます。モデル 25C534、25C535, page 35 を参照してください。
3. エアレギュレータ ( 12 ) に最低1.7 bar(25 psi) の空気圧をかけます。攪拌機シャフトがほとんど回転しないようにエアレギュレータを調整します。
4. 攪拌機シャフトが回転している間に、3つのアウトレットハウジングのネジを9~11.3 N·m(80~100インチポンド) のトルクで締めます。
5. 攪拌機シャフトが固着している場合は、上記の手順1~3を繰り返します。

## シャフトと攪拌機ブレードの点検 — モデル 25C530 専用

1. 圧力開放手順, page 21に従ってください。
2. 攪拌機の電源を切るか切ってください。
3. 攪拌機を取り外します。
4. 適合性のある溶剤で清掃し、シャフト ( 2 ) とブレード ( 5、6 ) の磨耗や損傷を点検します。モデル 25C530, page 37 を参照してください。
5. 摩耗や損傷が検出されなければ、攪拌機をドラムに再度取り付けます。
6. シャフトの交換が必要な場合：
  - a. エアモーターの取り外し, page 25 の手順に従ってエアモーターを取り外します。
  - b. 栓アダプター ( 4 ) を上げて、カプラ ( 3 ) の下の2つの止めネジ ( 7 ) を露出させます。それらを取り除くには1/8インチの六角を使用します。
  - c. シャフト ( 2 ) をカプラから引き抜きます。
  - d. 新しいシャフトをカプラに差し込みます。1/8インチ六角レンチを使用して、カプラの2本の下側固定ネジを締めます。65 インチ-ポンド (7.3 N·m) のトルクで締めます。
  - e. シャフト上の栓アダプターを下げるか、栓アダプターを通してシャフトを持ち上げて、エアモーターをカプラに挿入します。1/8インチ六角レンチを使用して、カプラの2本の上部止めネジ ( SS ) を締めます。65 インチ-ポンド(7.3 N·m)のトルクで締めます。モデル 25C530, page 37 を参照してください。
  - f. バングアダプターを上げ、3/16インチの六角レンチを使用して3本の止めネジ ( 8 ) をバングアダプターに締め付けます。80 インチ-ポンド ( 9 N·m ) のトルクで締めます。
  - g. 攪拌機をドラムに取り付けます。
7. ブレードの交換が必要な場合
  - a. 3 mm ( 1/8インチ ) 六角レンチを使用して、ロング ( 6 ) またはショート ( 5 ) ブレードハブの止めネジを外し、ハブ/ブレードアセンブリをシャフトからスライドさせて外します。
  - b. 新しいハブ/ブレードアセンブリを取り付けるには、それをシャフトの上にスライドさせて止めネジを締めます。止めネジは、ブレードが垂れ下がった状態で常に上にあるようにして、ブレードが栓穴に出入りするようになります。
  - c. 攪拌機をドラムに取り付けます。

# 部品

## モデル25C528



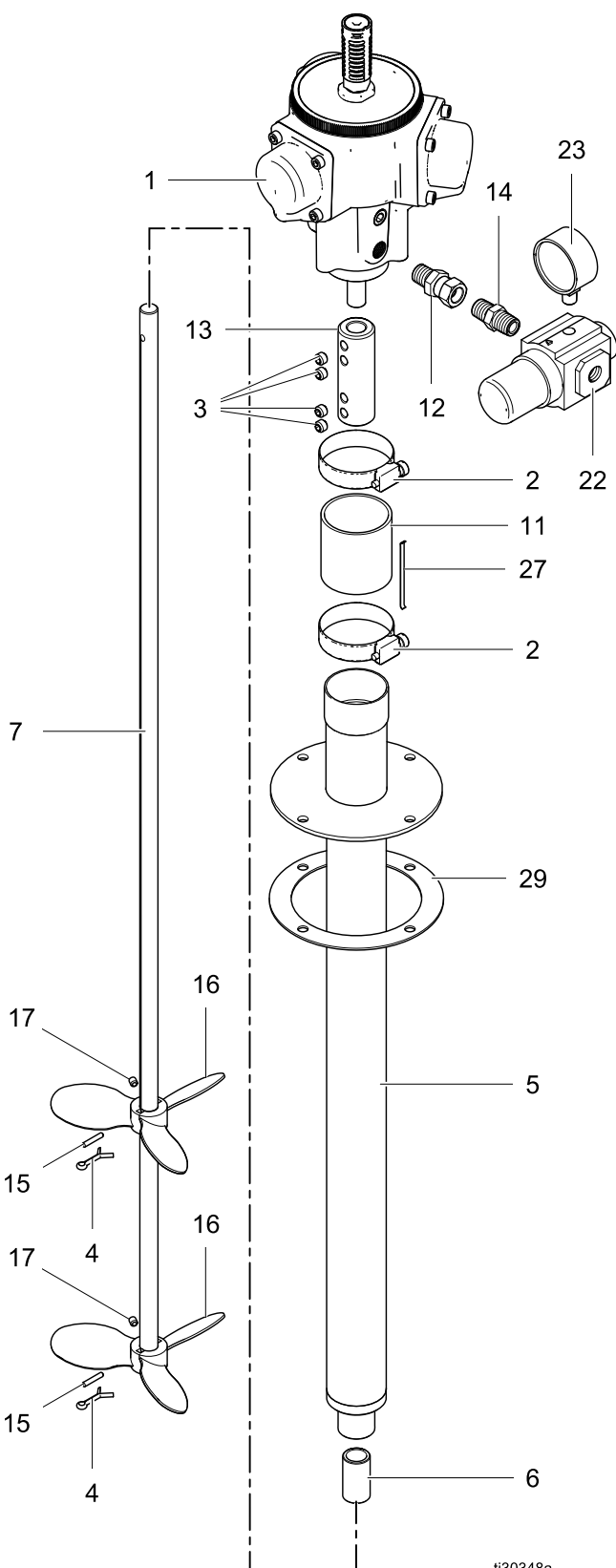
参照番号	部品	説明	個数
1	25C765	モーター、エア、ロータリーピストン。12、13、14、および30を含みます。	1
2	101368	クランプ、ホース	2
3	100053	ネジ、セット、ソケットヘッド。5/16~18×0.25インチ。11~15 N・m(96~132 in-lb) のトルク	4
4	158865	カップリング、モーター	1
5	222696	ガイド、攪拌機	1
6	115166	ベアリング、攪拌機、圧入	1
7	185389	シャフト、攪拌機	1
8	185401	PIN、せん断	1
9	185398	プロペラ、攪拌機	1
10	110248	ネジ、セット、ソケットヘッド。# 10 - 24 x 0.25インチ。1.7~2.3 N・m(15~20インチポンド) のトルク	1
11	100579	ピン、コッター	1
12	156823	金具、ユニオン、スイベル	1
13	156971	取付金具、ニップル、短	1
14	116513	レギュレーター、エア	1
15	159858	継手	1
19	100633	工具、レンチ、アレン ( 図示せず )	1
20	101821	工具、レンチ、アレン ( 図示せず )	1
27	065251	ケーブル、銅、平編み、0.33フィート	1
29	190192	ガスケット、ガイド、攪拌機	1
30	104655	ゲージ、圧力、エア	1

部品

参照番号	部品	説明	個数
32▲	17P806	安全タグ ( 図示せず )	1

▲ 交換用の安全ラベル、貼り紙、タグ、カードについては無償にて提供いたします。

# モデル 25C533



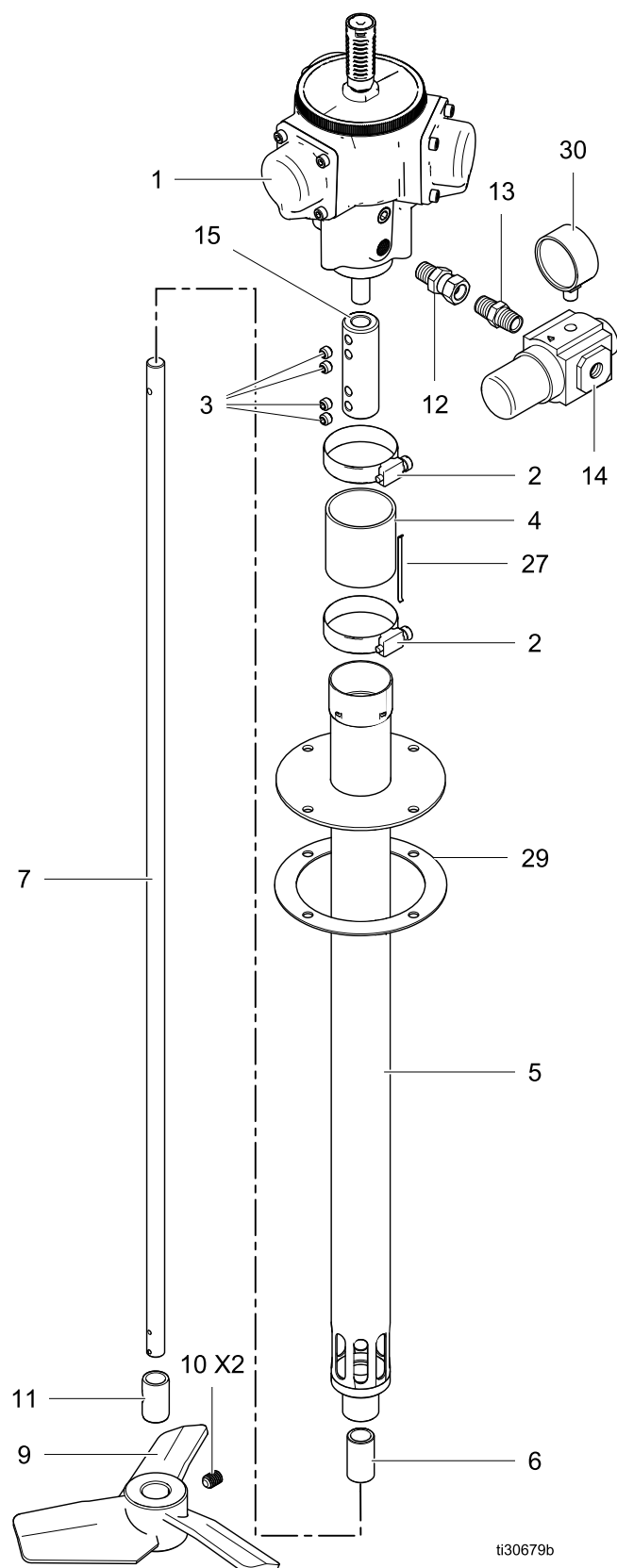
参照番号	部品	説明	個数
1	25C765	モーター、エア、ロータリーピストン。12、13、14、および30を含みます。	1
2	101368	クランプ、ホース	2
3	100053	ネジ、セット、ソケットヘッド。5/16~18×0.25インチ。11~15 N•m(96~132 in-lb)のトルク	4
4	100579	ピン、コッター	2
5	207622	ガイド、攪拌機	1
6	166565	ベアリング、攪拌機、圧入	1
7	172313	シャフト、攪拌機	v1
8	100633	工具、レンチ、アレン(図示せず)	1
9	101821	工具、レンチ、アレン(図示せず)	1
11	158865	カプリング、モーター	1
12	156823	金具、ユニオン、スィベル	1
13	159858	継手	1
14	156971	金具、ニップル、短	1
15	160077	PIN、せん断	2
16	159854	プロペラ、攪拌機	2
17	101118	ネジ、セット、ソケットヘッド。#10-24 x 0.25インチ。1.7~2.3 N•m(15~20インチポンド)のトルク	2
22	116513	レギュレーター、エア	1
23	104655	ゲージ、圧力、エア	1
27	065251	ケーブル、銅、平編み、0.33フィート	1
29	190192	ガスケット、ガイド、攪拌機	1

部品

参照番号	部品	説明	個数
35▲	17P806	安全タグ ( 図示せず )	1

▲ 交換用の安全ラベル、貼り紙、タグ、カードについては無償にて提供いたします。

# モデル 25M481



参照番号	部品	説明	個数
1	25C765	モーター、エア、ロータリーピストン。12、13、14、および30を含みます。	1
2	101368	クランプ、ホース	2
3	100053	ネジ、セット、ソケットヘッド。5/16~18×0.25インチ。11~15 N・m(96~132 in-lb) のトルク	4
4	158865	カップリング、モーター	1
5	222696	ガイド、攪拌機	1
6	115166	ベアリング、攪拌機、圧入	1
7	185389	シャフト、攪拌機	1
9	17N708	羽根車、ハイドラfoil。8インチステンレス鋼。項目10を含む 注：羽根車は、時計回りに回すと、刃の曲がった部分が先端になるように取り付けます。	1
10	---	ネジ、セット、ソケットヘッド。3/8~16×0.5インチ。20~23 N・m(180~200 in-lb)のトルク	2
11	17R167	スペーサー、シャフト	1
12	156823	金具、ユニオン、スイベル	1
13	156971	金具、ニップル、短	1
14	116513	レギュレーター、エア	1
15	159858	継手	1
19	100633	工具、レンチ、アレン (図示せず)	1
20	101821	工具、レンチ、アレン (図示せず)	1
27	065251	ケーブル、銅、平打ひも、0.33ft	1
29	190192	ガスケット、ガイド、アジテーター	1
30	104655	ゲージ、圧力、エア	1

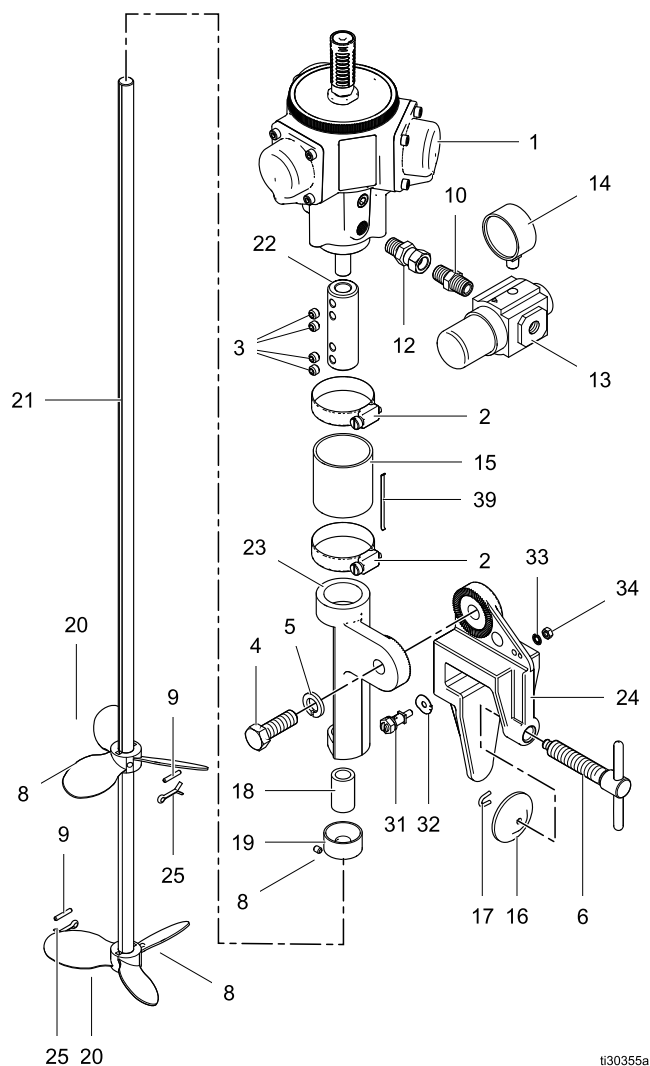
部品

参照番号	部品	説明	個数
32▲	17P806	安全タグ ( 図示せず )	1

▲ 交換用の安全ラベル、貼り紙、タグ、カードについては無償にて提供いたします。



# モデル25C529



t30355a

参照番号	部品	説明	個数
1	25C765	モーター、エア、ロータリーピストン。12、13、14、および30を含みます。	1
2	101368	クランプ、ホース	2
3	100053	ネジ、セット、ソケットヘッド。5/16~18x0.25インチ。11~15 N・m(96~132 in-lb) のトルク	4

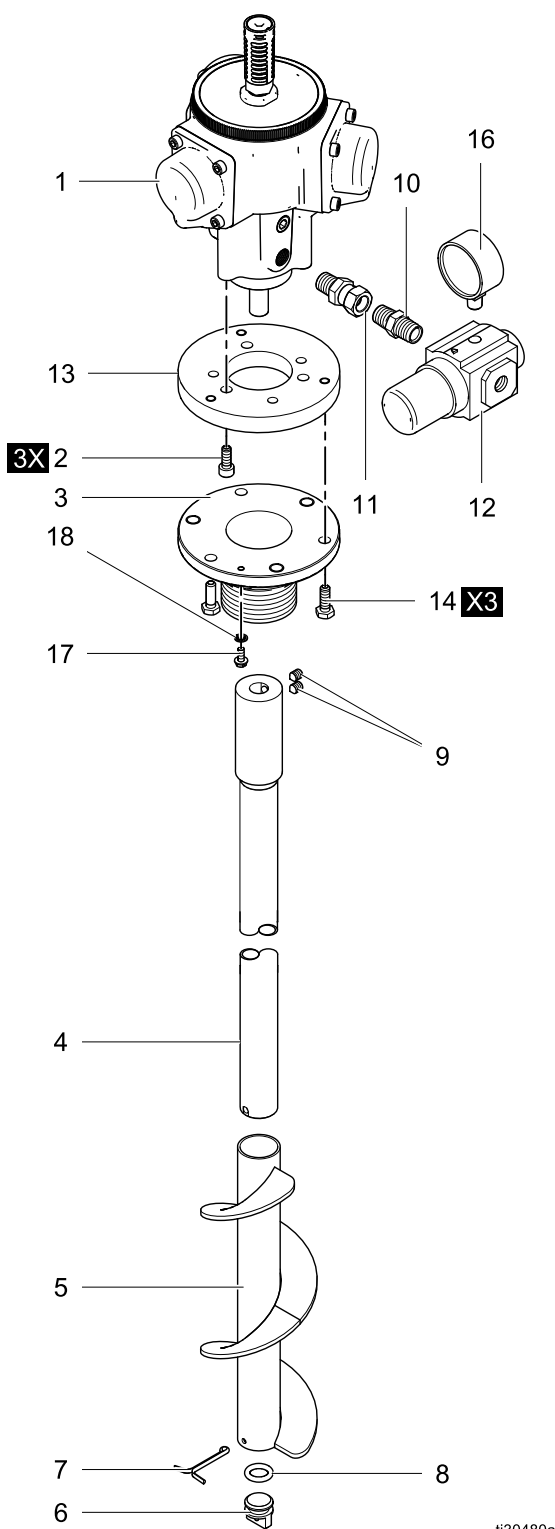
参照番号	部品	説明	個数
4	100017	ネジ、キャップ、六角ヘッド。1/2 - 13 x 1.5インチ。しっかり締めます。締めすぎないでください	1
5	100018	ワッシャ、ロック、スプリング	1
6	203399	クランプ、ネジ	1
7	100633	工具、レンチ、アレン ( 図示せず )	1
8	101118	ネジ、セット、ソケットヘッド。# 10 - 24 x 0.25インチ。1.7~2.3 N・m(15~20インチポンド) のトルク	3
9	160077	PIN、せん断	2
10	156971	取付金具、ニップル、短	1
11	101821	工具、レンチ、アレン ( 図示せず )	1
12	156823	金具、ユニオン、スイベル	1
13	116513	レギュレーター、エア	1
14	104655	ゲージ、圧力、エア	1
15	158865	カップリング、モーター	1
16	159056	PAD、取り付け、ネジ	1
17	159057	リテーナー	1
18	104391	ベアリング、攪拌機、圧入	1
19	159704	カップ、プロテクター、ベアリング	1
20	159854	プロペラ、攪拌機	2
21	172311	シャフト、攪拌機	1
22	159858	継手	1
23	159863	ブラケット、取り付け	1
24	159864	クランプ、攪拌機	1
25	100579	ピン、コッター	2

部品

参照番号	部品	説明	個数
31	104029	クランプ、接地、電気系統	1
32	104582	ワッシャ、タブ	1
33	100718	ワッシャ、ロック	1
34	110911	ナット、六角、M5 x 8	1
37	186620	ラベル、記号、アース ( 図示せず )	1

参照番号	部品	説明	個数
39	065251	ケーブル、銅、平編み、 0.33フィート	1
43▲	17P806	安全タグ ( 図示せず )	1
▲ 交換用の安全ラベル、張り紙、タグおよび、 カードについては無償にて提供いたします。			

### モデル 25C534、25C535



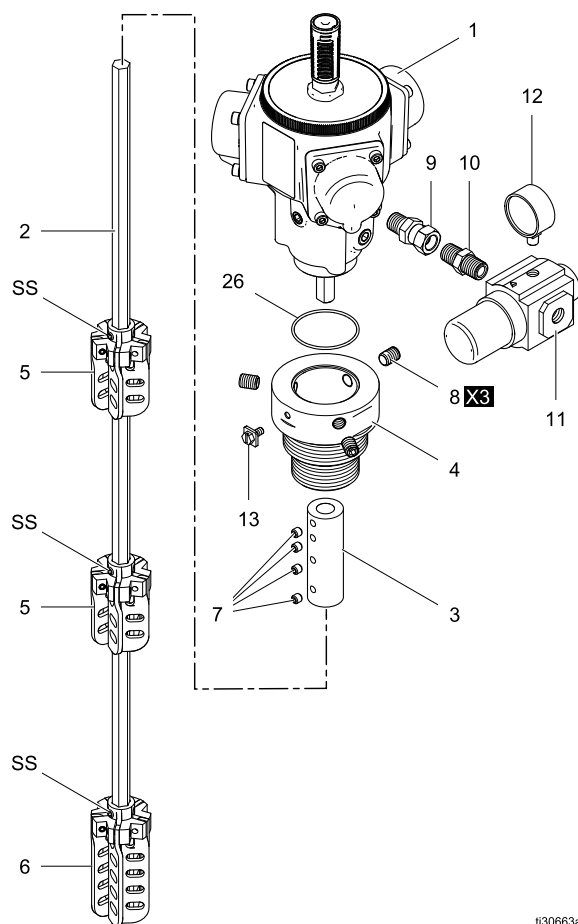
参照番号	部品	説明	個数
1	25C765	モーター、エア、ロータリーピストン。12、13、14、および30を含みます。	1
2	124313	ネジ、ソケットヘッド。M6-1 x 16 mm、ステンレススチール。9~11 N・m(80~100 in-lb) のトルク	3
3	235535	ハウジング、攪拌機アウトレット、ステンレススチール (モデル 25C534)	1
	224876	ハウジング、攪拌機アウトレット、炭素鋼 (モデル 25C535)	1
4	235530	シャフト、攪拌機 (モデル 25C534)	1
	224852	シャフト、攪拌機 (モデル 25C535)	1
5	224393	らせん、攪拌機	1
6	187054	プラグ、チューブ、液体	1
7	101946	ピン、コッター、ステンレス鋼	1
8	111312	パッキン、Oリング	1
9	112364	ネジ、セット、ソケットヘッド。1/4~20x0.38インチ。4~5 N・m(35~40 in-lb) のトルク	2
10	156823	金具、ニップル、短	1
11	156971	金具、ユニオン、スィベル	1
12	116513	レギュレーター、エア	1
13	187577	プレート、取り付け、モータ	1
14	102023	ネジ、キャップ、六角ヘッド。1/4-20 x 0.75インチ。9~11 N・m(80~100 in-lb) のトルク	3
16	104655	ゲージ、圧力、エア	1
17	111593	ネジ、アース、溝付き六角ワッシャーヘッド。# 8-32 x 0.375インチ	1
18	157021	ワッシャ、ロック、内部	1

部品

参照番号	部品	説明	個数
19	186620	ラベル、記号、アース ( 図示せず )	1
27	403123	キャップ、プラグ ( 図示 なし )	1

参照番号	部品	説明	個数
30▲	17P806	安全タグ ( 図示せず )	1
▲ 交換用の安全ラベル、貼り紙、タグ、カードについては無償にて提供いたします。			

# モデル 25C530

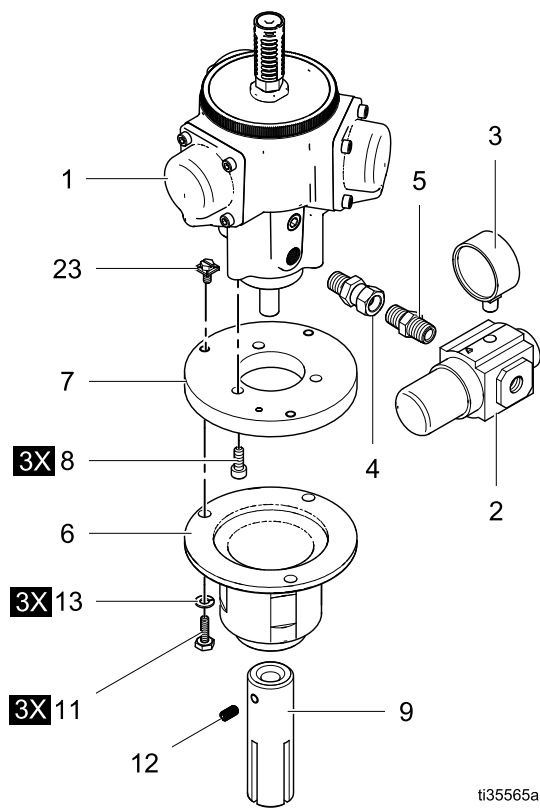


t130663a

参照番号	部品	説明	個数
SS	---	ネジ、ブレードセット。調整後はしっかり締めてください。締めすぎないでください	3
1	25C765	モーター、エア、ロータリーピストン。12、13、14、および30を含みます。	1
2	16A867	シャフト、攪拌機	1
3	16A868	カプラ、攪拌機	1
4	16A872	アダプター、栓、ダブル	1
5	24C860	攪拌機、アーム、ショート	2
6	24C861	攪拌機、アーム、ロング	1
7	102207	ネジ、セット、ソケットヘッド。1/4~20x0.25インチ。11~15 N*m(96~132 in-lb) のトルク	4
8	101679	ネジ、セット、ソケットヘッド。3/8-24 x 0.5インチ。9~11 N*m(80~100 in-lb) のトルク	3
9	156823	金具、ユニオン、スイベル	1
10	156971	金具、ニップル、短	1
11	116513	レギュレーター、エア	1
12	104655	ゲージ、圧力、エア	1
13	116343	ネジ、接地。M5 x 0.8	1
25	186620	ラベル、記号、接地 ( 図示せず )	1
26	113082	パッキン、Oリング	1
27	16H294	アダプター、アングル、エキスパンドブレード ( 図示せず )	1
28	16H295	リング、ロック ( 図示せず )	1
30▲	17P806	安全タグ ( 図示せず )	1

▲ 交換用の安全ラベル、貼り紙、タグおよび、カードについては無償にて提供いたします。

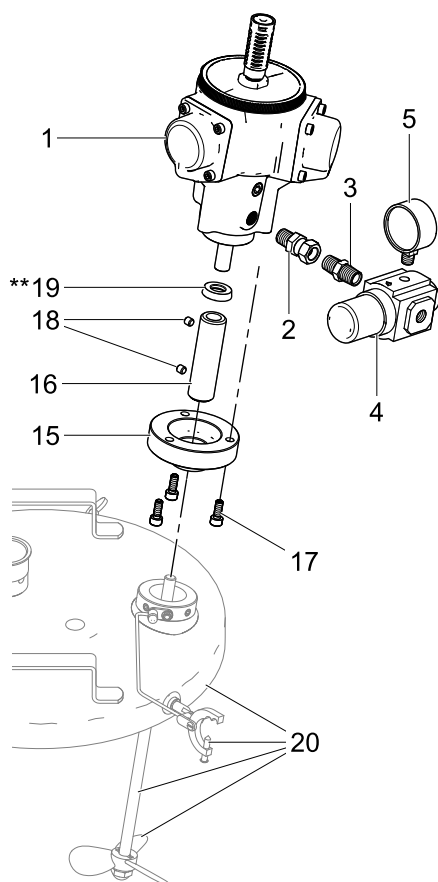
モデル 25N881、25N882



参照番号	部品	説明	個数
1	25C765	モーター、空気、ラジアルピストン。項目2、3、4、および5を含む	1
2	116513	レギュレーター、エア	1
3	104655	ゲージ、圧力、エア	1
4	156971	金具、ニップル、短	2
5	156823	金具、ユニオン、スィベル	1
6	16A521	ハウジング、アダプタ、1 1/2~11.5 NPSM (モデル25N881)	1
	16A754	ハウジング、アダプタ、2~11.5 NPSM (モデル25N882)	
7	18A192	プレート、ドラム内取り付け	1
8	117028	ネジ、ソケットヘッド、M6-1 x 16 mm。9~11 N・m(80~100 in-lb) のトルク	3
9	17X562	アダプター、シャフト、7/16インチスクエア	1
	17X563	アダプター、シャフト、1/2インチスクエア	1
11	555337	ネジ、六角ヘッド1/4~20 x 0.750。80~100 in-lb (9~11 N・m) のトルク	3
12	131497	ネジ、セット、カップpt、1/4-20 x .500。モーターシャフトの平らな部分にしっかりと締めます。光強度の嫌気性シーラントを使用します	1
13	100016	ワッシャ、ロック	3
22	116343	ネジ、接地	1
24▲	17P806	安全タグ ( 図示せず )	1

▲ 交換用の安全ラベル、貼り紙、タグ、カードについては無償にて提供いたします。

## モデル 19Y592



ti37867b

\*\*スプラッシュシールリップ(凹面)は、モーターから下向きになっている(離れている)ことが必要です。

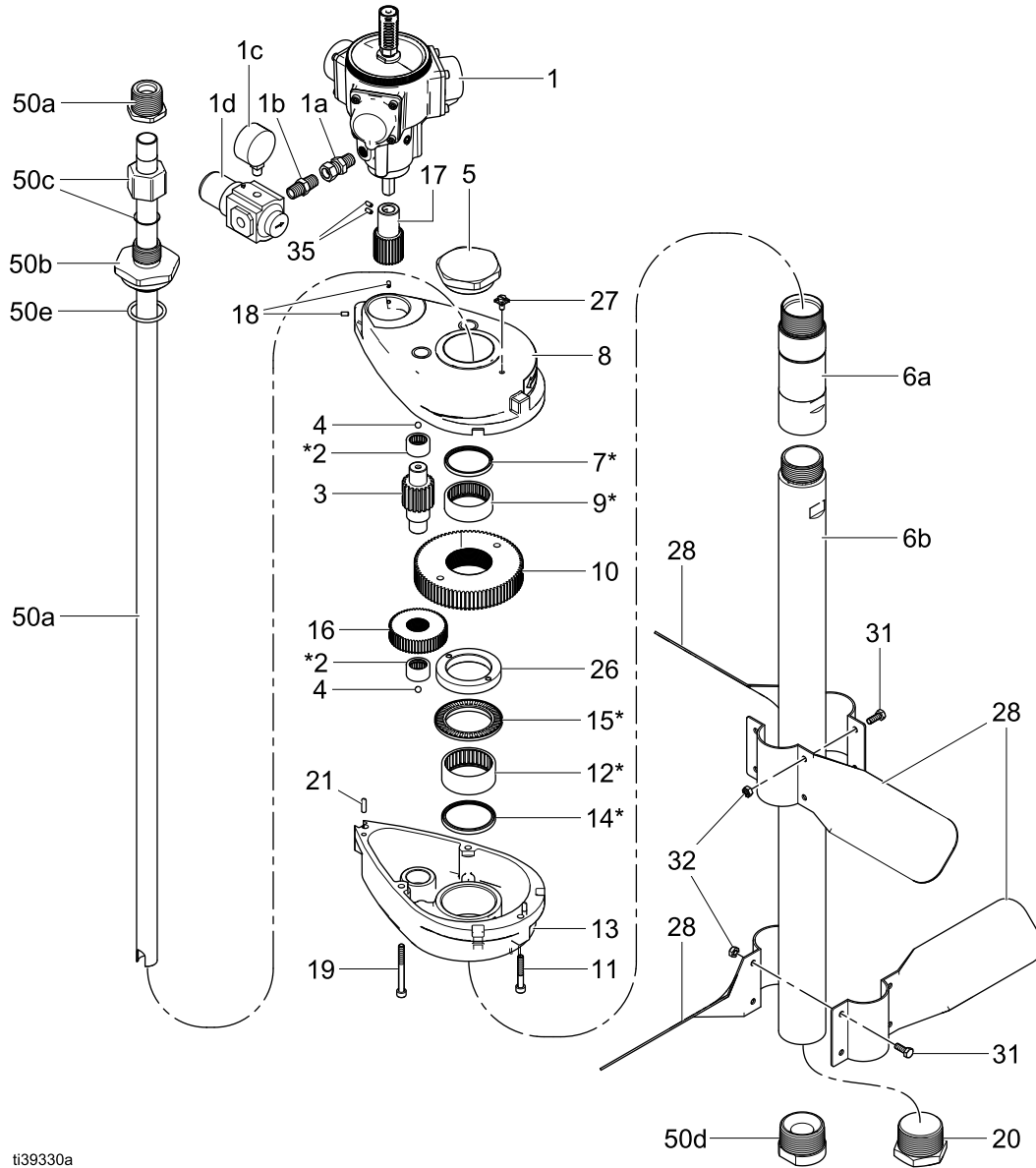
参照番号	部品	説明	個数
1	25C765	モーター、空気、ラジアルピストン。項目2、3、4、および5を含む	1
2	156823	金具、ユニオン、スイベル	1
3	156971	金具、ニップル、短	1
4	116513	レギュレーター、エア	1
5	104655	ゲージ、プレスエア	1
10▲	17Z460	安全タグ(図示せず)	1
15	25P708	アダプター、アジテーター、取り付け、5ガロン	1
16	25P709	カプラー、シャフト、アジテーター、1/2-3/8インチ	1
17	124313	ネジ、SHCS、M6-1X16M、SST	1
18	110272	ネジ、セット、SCH	1
19	19C987	シール、スプラッシュ	1
20		ペール缶カバー、シャフトおよび刃は、キットの部品ではありません。ペール缶カバーおよび関連部品のご注文は、取扱説明書306670を参照してください。	
▲交換用の安全ラベル、貼り紙、タグ、カードについては無償にて提供いたします。			

## モデル 26B630、26B631、238250

6 : 1ギア減速アジテーター、モデル 26BB630 ( アイテム1 - 34を含む )

6 : 1サイフォンキットを使用したギア減速アジテーター、モデル 26B631 ( アイテム1 - 34および50a-50eを含む )

サイフォンキット、モデル 23850 ( アイテム50a-50eを含む )



ti39330a



モデル 26B630、26B631、238250

参照番号	部品	説明	個数
1†	25C765	キット、モーター、ラジアルピストンエア ( アイテム1a-1dを含む )	1
1a	18A823	モーター、エア	1
1b	156823	金具、ユニオン、スィベル	1
1c	104655	ゲージ、プレスエア	1
1d	116513	レギュレーター、エア	1
2*	191004	ベアリング、ニードル ; 3/4"	2
3	18D110	ギア、ピニオン#2	1
4	100069	ボール、スラスト	2
5	191003	プラグ、トップ	1
6	24D311	キット、アジテーターのシャフト ( アイテム6aおよび6bを含む )	1
6a	16A519	シャフト、アジテーター	1
6b	16C238	シャフト、アジテーター	1
7*	113363	シール、ベアリング	1
8	194389	ハウジング、上部	1
9*	190980	ベアリング、ニードル、45mm	1
10	18D111	ギア#2	1
11	113357	ネジ、キャップ、ソケットヘッド	2
12*	190978	ベアリング、ニードル、50mm	1
13	194390	ハウジング、下部	1
14*	113359	シール、ベアリング	1
15*	190979	ベアリング、ニードル、スラスト ; 50mm	1
16	18D109	ギア#1	1
17	18D108	ギア、ピニオン#1	1
18	108161	セットネジ、カップpt ; SST	2
19	113356	ネジ、キャップ、ソケットヘッド	2

参照番号	部品	説明	個数
20	191002	プラグ、底部	1
21	105489	ピン、合わせ釘	2
25	113358	ネジ、六角 ; ドラム缶カバーへの取り付け用 ( <a href="#">取り付け穴の配置</a> , <a href="#">page 50</a> 参照 )	3
26	190976	ナット ; 50mm	1
27	116343	ネジ、接地	1
28	190985	刃、アジテーター	4
30▲	17P806	安全タグ ( 図示せず )	1
31	113413	ネジ、キャップ	8
32	113414	ナット、ロック	8
35	103253	ネジ、セット、六角 soc	2
†モーター再構築キットは、使用可能です。詳細については、 <a href="#">整備します</a> 。、 <a href="#">page 25</a> を参照してください。			
*ベアリング交換用キット 238251 の付属品。			
▲交換用の安全ラベル、貼り紙、タグ、カードについては無償にて提供いたします。			

Note

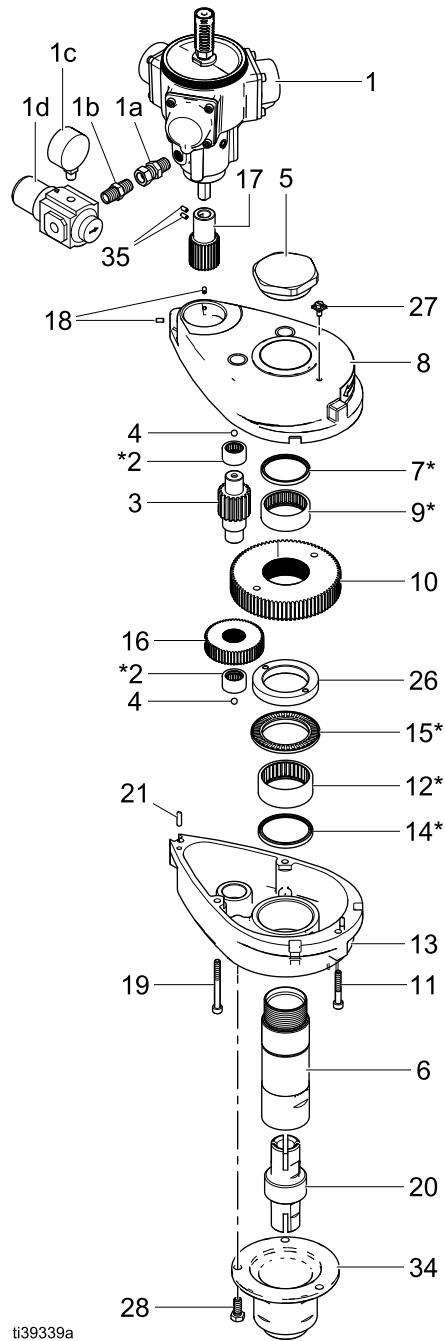
アジテーター運転キット25T862 が使用可能です。アイテム6b、20、28、31および32以外の上記のすべてのパーツが付属したキット。

サイフォンキット、モデル 238250

参照番号	部品	説明	個数
50a	238161	チューブ、サイフォン	1
		金具、ネジ	1
50b	190998	保持器、サイフォンチューブ	1
50c	190999	ナット、保持	1
50d	191000	ベアリング、プレーン	1
50e	164557	Oリング、PTFE	1

## モデル 26B618、26B619

6 : 1ギア減速アジテーター、ドラム缶取り付け、モデル 26BB619および26B618 (内蔵シャフトおよび刃のついたドラム缶用)



ii39339a

## モデル 26B618、26B619

参照番号	部品	説明	個数
1†	25C765	キット、モーター、ラジアルピストンエア	1
1a	18A823	モーター、エア	1
1b	156823	金具、ユニオン、スィベル	1
1c	104655	ゲージ、プレスエア	1
1d	116513	レギュレーター、エア	1
2	191004	ベアリング、ニードル； 3/4"	2
3	18D110	ギア、ピニオン#2	1
4	100069	ボール、スラスト	2
5	191003	プラグ、トップ	1
6	16A519	シャフト、アジテーター	1
7*	113363	シール、ベアリング	1
8	194389	ハウジング、上部	1
9*	190980	ベアリング、ニードル、 45mm	1
10	18D111	ギア#2	1
11	113357	ネジ、キャップ、ソケット ヘッド	2
12*	190978	ベアリング、ニードル、 50mm	1
13	194390	ハウジング、下部	1
14*	113359	シール、ベアリング	1
15*	190979	ベアリング、ニードル、 スラスト；50mm	1
16	18D109	ギア#1	1
17	—	ギア、ピニオン#1	1
18	108161	セットネジ、カップpt； SST	2

参照番号	部品	説明	個数
19	113356	ネジ、キャップ、ソケット ヘッド	2
20*	16H554	アダプター、ナット、両 面（7/16および3/8）	1
	16H555	アダプター、ナット（1/2 および5/8）	1
21	105489	ピン、合わせ釘	2
25	113358	ネジ、六角頭；ドラム 缶カバーへの取り付け 用（ <a href="#">取り付け穴の配置</a> 、 <a href="#">page 50</a> 参照）	3
26	190976	ナット；50mm	1
27	116343	ネジ、接地	1
28	113358	ネジ、キャップ、六角	3
30▲	17P806	安全タグ（図示せず）	1
34*	16A521	ハウジング、アダプター （26B619用）	1
	16A754	ハウジング、アダプター （26B618用）	1
35	103253	ネジ、セット、六角 soc	2
†モーター再構築キットが使用できます。詳細については、 <a href="#">整備します。</a> 、 <a href="#">page 25</a> を参照してください。			
*ベアリング交換キット238251の付属品			
~販売できないアイテム			
♦アダプタキット24D588に付属。			
▲交換用の安全ラベル、貼り紙、タグ、カードについては無償にて提供いたします。			

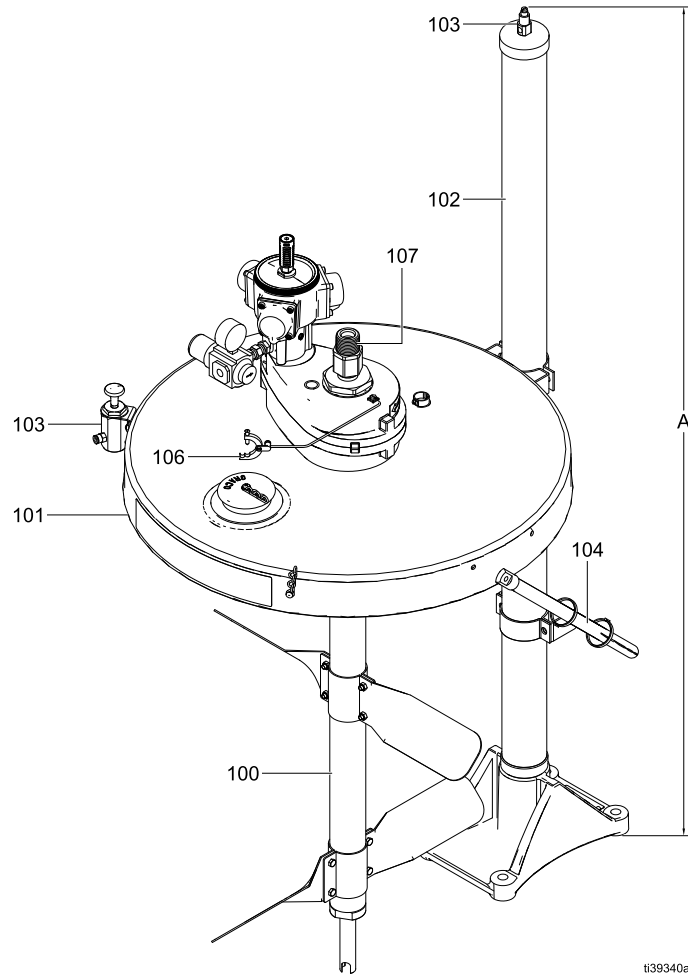
## Note

アジテーター運転キット25T862が使用できません。アイテム20および34以外の、上記のすべてのパーツを含むキット。

## モデル 26B632、26B633

非サイフォンのアジテーターのパッケージ、6 : 1ギア減速、モデル 26B632

サイフォンのアジテーターのパッケージ、モデル 26B633 ( 表示 )



ii39340a

参照A =            昇降した高さ : 94インチ  
                          ( 239cm )  
                          下降した高さ : 55インチ  
                          ( 140cm )

## モデル 26B632、26B633

参照番号	部品	説明	個数
100	26B630	アジテーター、6:1ギア減速；(パーツについては、 <a href="#">モデル 26B-630、26B631、238250、page 40</a> 参照)	1
101	238283	カバー、sst；取扱説明書308466参照	1
102	204385	エレベーター；取扱説明書306287参照	1
103	237579	エア制御キット；取扱説明書 306287 参照	1
104	237578	カバー支援キット；取扱説明書306287参照	1

参照番号	部品	説明	個数
105	238425	指定席プレーとキット；モデル 231413 (非表示)	1
	238426	指定席プレーとキット；モデル 231414 (非表示)	1
106	237569	接地線およびクランプ	1
107	238250	サイフォンキット；モデル 231414専用(パーツについては、 <a href="#">モデル 26B-630、26B631、238250、page 40</a> 参照)	1

## アクセサリ

### センサーキット 25C373

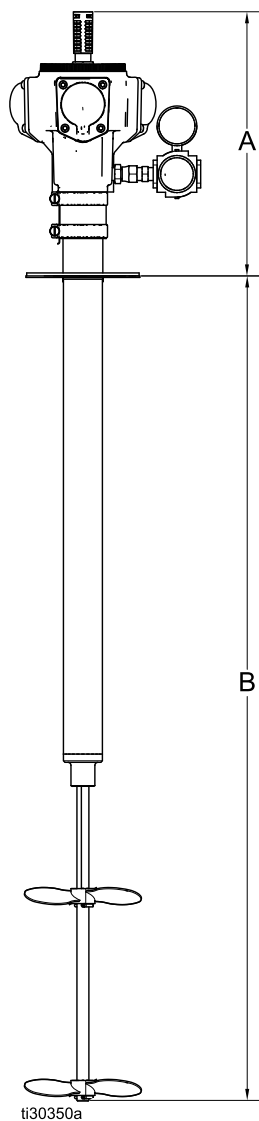
モーターの回転を感知するためにセンサーキット 25C373を使用します。キットには、エアモーターに取り付けるためのセンサーとセンサーブラケットが含まれています。

### Data Track キット 25P394

ラジアルピストンモーター駆動のアジテーターの速度のモニタリングと回転数の集計には、Data Track キット 25P394を使用してください。

# 寸法

モデル 25C528 および 25C533



ti30350a

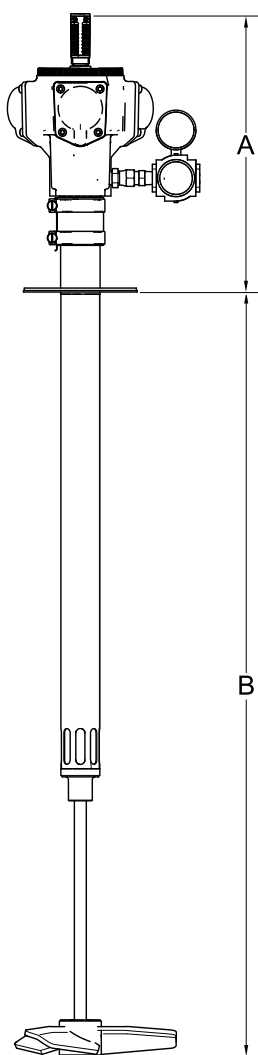
参照A = 29.3 cm (11.5インチ)

参照B

Model 25C528 =  
81.0 cm (31.9インチ)

Model 25C533 =  
87.2 cm (34.3インチ)

モデル 25M481

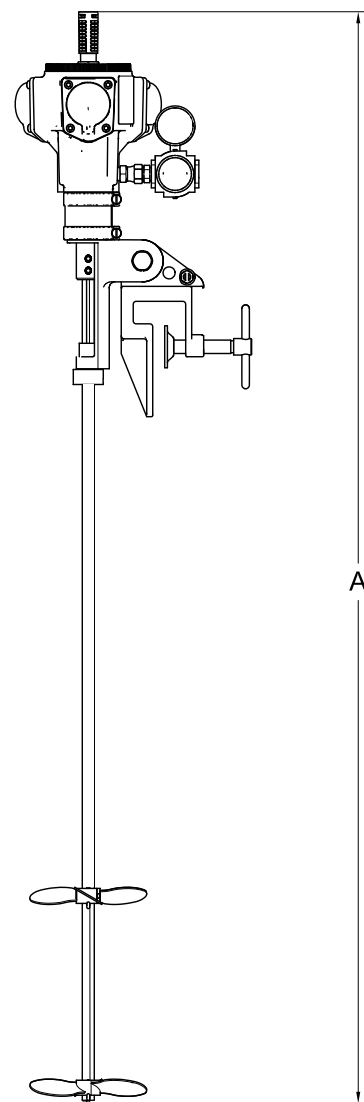


ti30868b

参照A = 29.3 cm (11.5インチ)

参照B = 81.0 cm (31.9インチ)

モデル 25C529

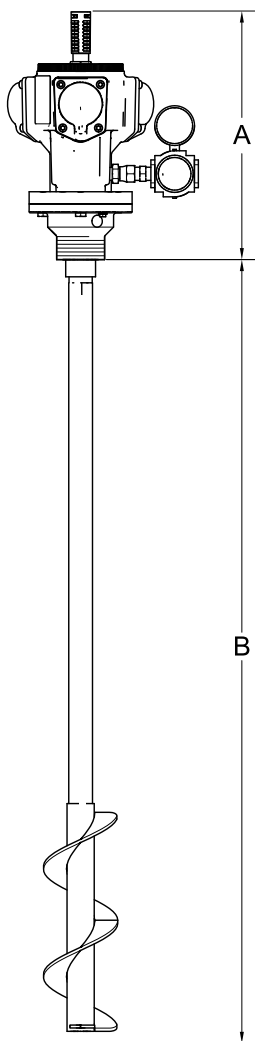


ti30356a

参照A =  
115.8 cm (45.6インチ)

寸法

モデル 25C534 および 25C535

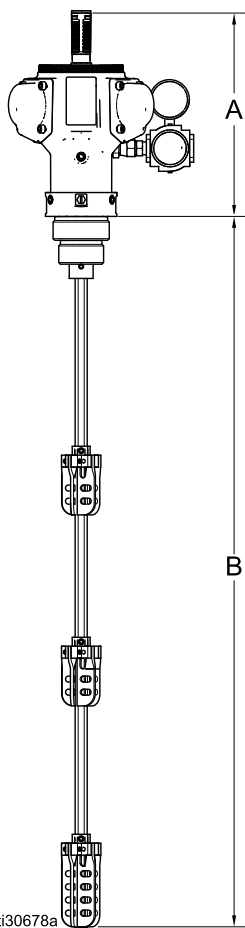


ti30484a

参照A = 26.3 cm (10.4インチ)

参照B = 81.8 cm (32.2インチ)

モデル 25C530

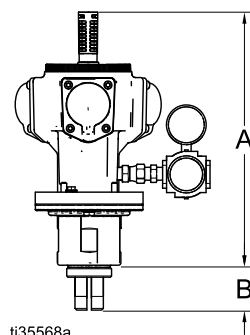


ti30678a

参照A = 21.6 cm (8.5インチ)

参照B = 75.6 cm (29.8インチ)

モデル 25N881 およ  
び 25N882



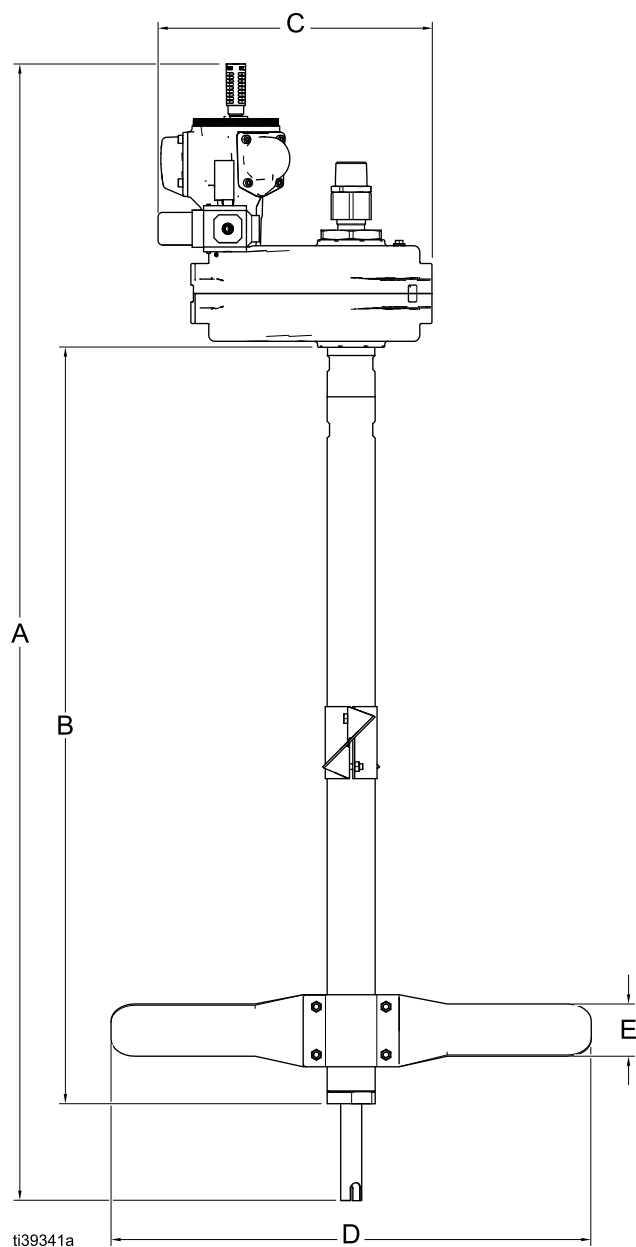
ti35568a

参照A =  
26.3 cm (10.4インチ)

参照B = 81.8 cm (32.2)



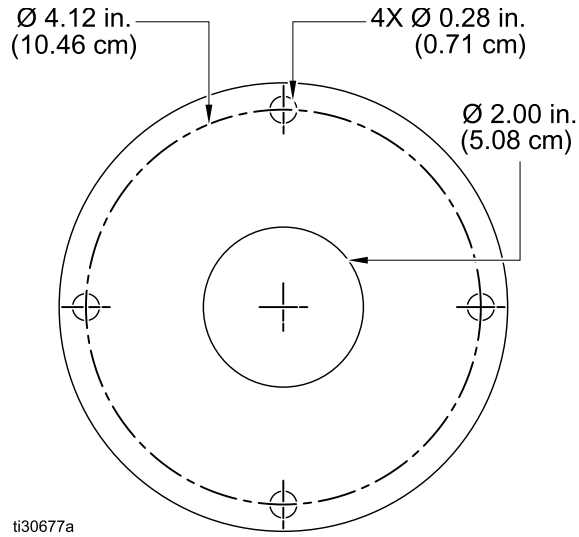
モデル 26B630、26B631



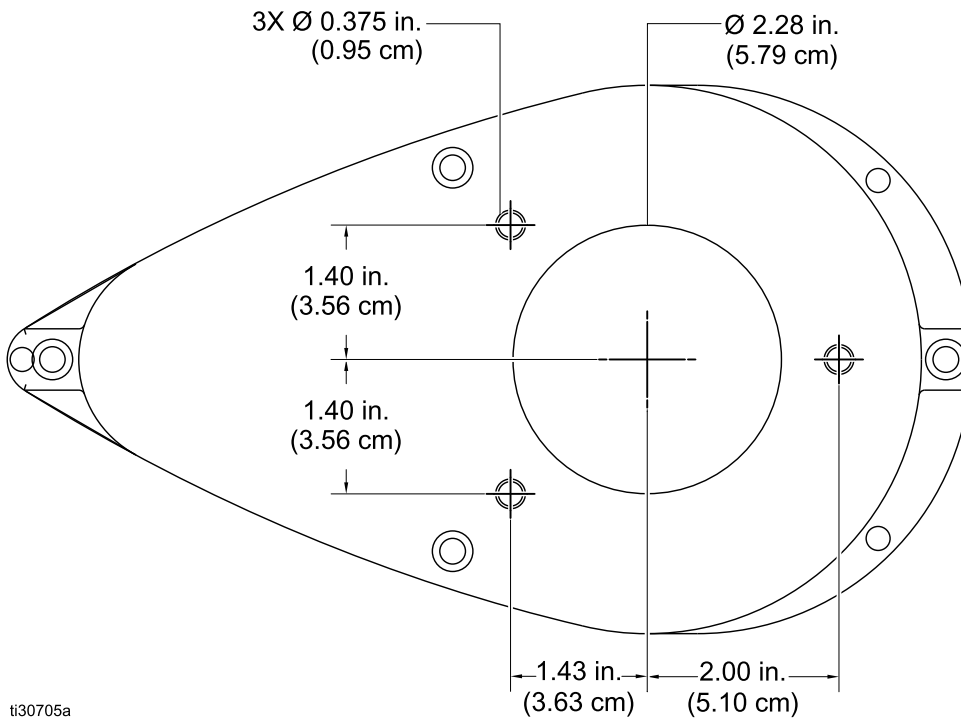
参照A = 1219mm ( 48インチ ) ( サイフォンキット使用のモデル 26B631 )
参照B = 1092mm ( 43インチ ) ( モデル 26B630 )
参照C = 254mm ( 10インチ )
参照D = 508mm ( 20インチ )
参照E = 76mm ( 3インチ )

# 取り付け穴の配置

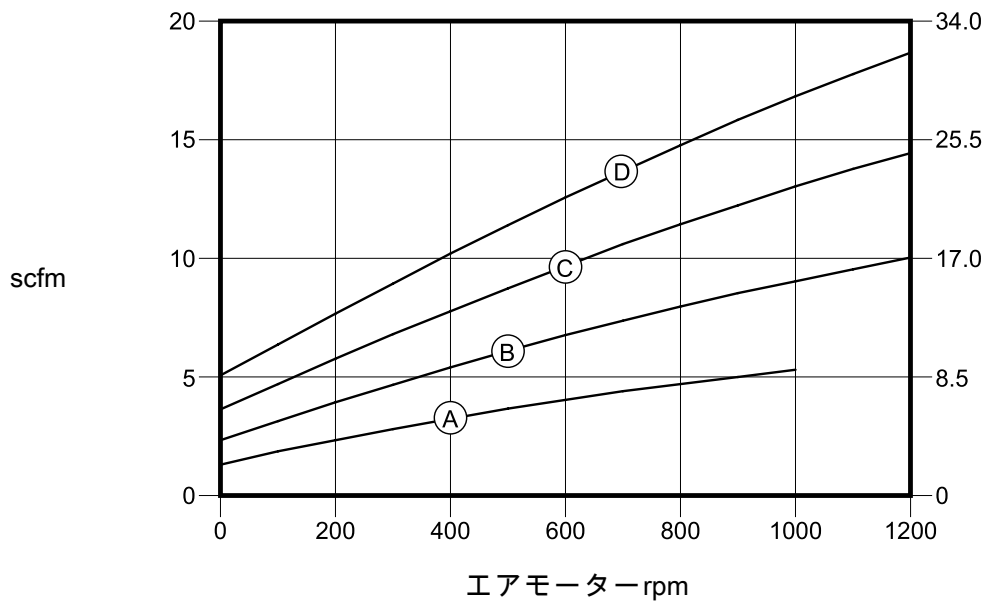
モデル 25C528、25C533、25M481



モデル 26B618、26B619、26B630、26B503631、26B632、26B633および、25T862



# エア消費量




標準立方メートル/時

- A - 20 psi (1.4bar、0.14MPa)
- B - 40 psi (2.8 bar、0.28 MPa)
- C - 60 psi (4.1 bar、0.41 MPa)
- D - 80 psi (5.5 bar、0.55 MPa)

カリフォルニア州プロポジション 65

# カリフォルニア州プロポジション 65

カリフォルニア州居住者

 警告:発がんおよび生殖への悪影響 – [www.P65warnings.ca.gov](http://www.P65warnings.ca.gov)

## 技術仕様

注: 推奨最高速度を超えて運転すると、部品の磨耗が増え、作業効率が低下します。

### モデル 25C528、25C533、25M481

空気駆動アジテーター、標準			
	25C528	25C533	25M481
最大推奨使用圧力	70 psig (5 bar)		
エア消費量	グラフを参照		
最高推奨速度	500 rpm		500 rpm
最高許容プロセス流体温度	194°F (90°C)		
最高推奨速度	1000 cP		500 cP
接液部品	ステンレススチール、ポリエーテルエーテルケトン	炭素鋼、アルミニウム、PTFE	ステンレススチール、ポリエーテルエーテルケトン
重量	5 kg (11 lb)	5.4 kg (12 lb)	5.9 kg (13 lb)
70 psigの音圧レベル、最大推奨速度	75 dBA 未満		

### モデル25C529

空気駆動攪拌機、船外機	
最大推奨使用圧力	70 psig (5 bar)
エア消費量	グラフを参照
最高推奨速度	500 rpm
最高推奨速度	1000 cP
接液部品	アルミニウム、炭素鋼、ダクタイル鋳鉄、青銅
重量	15 ポンド (6.8 kg)
70 psigの音圧レベル、最大推奨速度	75 dBA 未満

## モデル 25C534、25C535

空気駆動アジテーター、Twistork®Helix ミキサー		
最大推奨使用圧力		5 bar (70 psig)
エア消費量		グラフを参照
最高推奨速度		500 rpm
最高許容プロセス流体温度		70° C (158° F)
最高推奨速度		1000 cP
接液部部品		
	25C535	炭素鋼、フルオロエラストマー、アセタール
	25C534	304および316ステンレス鋼、フルオロエラストマー、アセタール
重量		7.3 kg (16 オンス)
70 psigの音圧レベル、最大推奨速度		75 dBA 未満

## モデル 25C530

空気駆動攪拌機、ブレードミキサーの拡大	
最大推奨使用圧力	5 bar (70 psig)
エア消費量	グラフを参照
最高推奨速度	500 rpm
最高許容プロセス流体温度	90° C (194° F)
最高推奨速度	1000 cP
栓アダプタのサイズ	1 1/2–11.5 npsm および 2–11.5 npsm
接液部品	303、304、18 - 8 ステンレス鋼
重量	5.4 kg (12 オンス)
70 psigの音圧レベル、最大推奨速度	
75 dBA 未満	

## モデル 25N881、25N882

空気駆動アジテーター、ドラム内	
最大推奨使用圧力	5 bar (70 psig)
エア消費量	グラフを参照
最高推奨速度	100 rpm
最高許容プロセス流体温度	90° C (194° F)
最高推奨速度	500cP
栓アダプタのサイズ	1 1/2–11.5 npsm および 2–11.5 npsm
接液部品	適用なし
重量	11.4 ポンド (5.2 kg)
70 psigでの音圧レベル、最大推奨速度	
75 dBA 未満	

## モデル 19Y592

<b>エア駆動アジテーター、ペール缶入り</b>	
最大推奨使用圧力	70 psig (5 bar)
エア消費量	グラフを参照
最高推奨速度	500 rpm
シャフトの最大許容ラジアル荷重	30lbf、0.13kN
シャフトの最大許容スラスト荷重	11lbf、0.05kN
最高許容プロセス流体温度	90° C (194° F)
最高推奨速度	500cP
重量	7.4 ポンド (3.4 kg)
70 psigの音圧レベル、最大推奨速度	75 dBA 未満

## モデル 25C765

<b>空気駆動アジテーター、ペール缶入り</b>	
最大推奨使用圧力	5 bar (70 psig)
エア消費量	グラフを参照
最高推奨速度	500 rpm
シャフトの最大許容ラジアル荷重	30ポンド、0.13kN
シャフトの最大許容スラスト荷重	11ポンド、0.05kN
最高許容プロセス流体温度	90° C (194° F)
最高推奨速度	500cP
重量	8 ポンド (3.6 kg)
70 psigの音圧レベル、最大推奨速度	75 dBA 未満

## モデル 26B618、26B619、26B630、26B631、26B632、26B633、25T862

<b>空気駆動バックギア式アジテーター</b>	
最大推奨使用圧力	70 psi (0.5 MPa、5 bar)
エア消費量	チャートを参照
最大推奨シャフトrpm (アジテーター)	83 rpm
最高推奨粘度	500 cP - 3000 cP
接液部部品	300 シリーズステンレス鋼、ナイロン、アセタール、PTFE
重量	31.1 ポンド (14.1 kg)
ギア減速機比率	6:1
70 psigでの音圧レベル、最大推奨速度	75 dBA未満
アジテーターの刃のスパン	508mm (20 インチ)
アジテーターの刃の幅	76 mm (3 in)
サイフォンチューブID	19 mm (3/4インチ)

# Graco 標準保証

Graco は、直接お買い上げいただいたお客様のご使用に対し、販売日時から、本ドキュメントに記載された、Graco が製造し、かつ Graco の社名を付した全ての機器の材質および仕上がりに欠陥がないことを保証します。Graco により公表された特殊的、拡張的または制限的品質保証を除き、販売日時から起算して 12 か月間、Graco により欠陥があると判断された機器の部品を修理、交換いたします。本品質保証は、Graco の書面の推奨に従って、機器が設置、操作、およびメンテナンスされている場合にのみ有効です。

誤った設置、誤用、摩擦、腐食、不十分または不適切なメンテナンス、過失、事故、改ざん、または Graco 製でない構成部品の代用が原因で発生した一般的な摩耗、あるいは誤動作、損傷、摩耗については、本品質保証の範囲外であり、Graco は一切責任を負わないものとします。また、Graco の装置と Graco によって提供されていない機構、アクセサリ、装置、または材料の不適合、あるいは Graco によって提供されていない機構、アクセサリ、装置、または材料の不適切な設計、製造、取り付け、操作またはメンテナンスが原因で発生した誤動作、損傷、または摩耗については、Graco は一切責任を負わないものとします。

本品質保証は、Graco 販売代理店に、主張された欠陥を確認するために、欠陥があると主張された装置が前払いで返却された時点で、条件が適用されます。主張された欠陥が確認された場合、Graco は全ての欠陥部品を無料で修理または交換します。装置は、輸送料前払いで、直接お買い上げいただいたお客様に返却されます。装置の検査により材料または仕上がりの欠陥が明らかにならなかった場合は、修理は妥当な料金で行われます。料金には部品、労働、工賃および輸送の費用が含まれる可能性があります。

**本品質保証は唯一のものであり、明示的、黙示的を問わず、商品性の保証、または特定用途への適合性の保証など、その他の品質保証に代わるものです。**

保証違反の場合の Graco のあらゆる義務およびお客様の救済に関しては、上記規定の通りです。購入者は、他の補償（利益の損失、売上の損失、人身傷害、または器物破損による偶発的または結果的な損害、または他のいかなる偶発的または結果的な損害を含むがこれに限定されるものではない）は得られないものであることに同意します。保証違反に関連するいかなる行為も、販売日から起算して 2 年以内に提起する必要があります。

**Graco 社によって販売されているが、製造されていないアクセサリ、装置、材料、または構成部品に関しては、Graco は保証を負わず、特定目的に対する商用性および適合性の全ての黙示保証は免責されるものとします。**販売されているが Graco によって製造されていない製品（電動モーター、スイッチ、ホースなど）がある場合、それらのメーカーの品質保証の対象となります。Graco は、これらの保証違反に関する何らかの主張を行う際は、合理的な支援を購入者に提供いたします。

いかなる場合でも、Graco は Graco の提供する装置または備品、性能、または製品の使用またはその他の販売される商品から生じる間接的、偶発的、特別、または結果的な損害について、契約違反、保証違反、Graco の過失、またはその他によるものを問わず、一切責任を負わないものとします。

FOR GRACO CANADA のお客様へ

当事者は、現在および将来のドキュメント、通知、および直接間接に締結、提供または実施される法的手続が英語で作成されることに同意したものと見なされます。Les parties reconnaissent avoir convenu que la rédaction du présente document sera en Anglais, ainsi que tous documents, avis et procédures judiciaires exécutés, donnés ou intentés, à la suite de ou en rapport, directement ou indirectement, avec les procédures concernées.

## Graco に関する情報

Graco 製品についての最新情報は、[www.graco.com](http://www.graco.com) を参照してください。  
特許の情報については、[www.graco.com/patents](http://www.graco.com/patents) を参照してください。

**注文については、**Graco 販売代理店にお問い合わせください。または、電話にて最寄りの販売代理店をご確認ください。

**電話:612-623-6921 または無料通話: 1-800-328-0211 ファックス:612-378-3505**

本文書に含まれる全ての文字および図、表等によるデータは、出版時に入手可能な最新の製品情報を反映しています。

Graco はいかなる時でも通知なく変更を行う権利を有します。  
取扱説明書原文の翻訳。この説明書には英語が含まれています。MM 3A4792

**Graco Headquarters:** Minneapolis  
海外拠点: ベルギー、中国、日本、韓国

**GRACO INC. GRACO INC. および子会社 • P.O. BOX 1441 • MINNEAPOLIS MN55440-1441 • USA**  
Copyright 2015, Graco Inc. すべての Graco 製造場所は ISO 9001 に登録されています。

[www.graco.com](http://www.graco.com) 改訂 N - 2022 年 10 月